

平成28年度

大分市美術館

年 報

目次

1. 運営方針	4
2. 沿革	5
3. 展覧会事業	6
1. 特別展	6
2. 常設展	41
3. サマー企画	57
4. まちなかアートフルロード推進事業	62
4. 教育普及事業	64
1. 芸術・文化講座	64
2. アートカレッジ	64
3. 美術館で音楽会	65
4. 子ども講座	66
5. 美術館出前教室	67
6. 職場体験	67
7. ボランティア研修講座	68
8. ボランティア養成講座	68
9. ボランティア活動	69
10. 博物館実習	70
11. 各種刊行物	71
5. 資料収集事業	72
1. 美術品等収集事業	72
2. 平成28年度作品貸出実績	74
3. 所蔵図書	75
4. 所蔵映像資料	75
6. 管理運営	76
1. 職員数	76
2. 事務分掌	76
3. 利用状況	77
4. 建築設備概要	78
5. フロア別面積	80
6. 決算見込	81
7. 利用案内	81
8. 条例	81
9. 条例施行規則	81
7. アートプラザ	82

1. 運営方針.....	82
2. 施設概要.....	82
3. 業務内容.....	83
4. 現代美術作品 大分市美術館所蔵 常設展示.....	84
(別添) 磯崎新建築模型展示リスト.....	85
5. 利用案内.....	86
6. 利用状況.....	86
7. アートプラザ条例.....	86
8. アートプラザ条例施行規則.....	86

1. 運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘子どものもり公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ」美術館として、年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できる常設展やさまざまな優れた分野の美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、子どもから大人までだれもが幅広く楽しめる生涯学習施設としての美術館運営をめざしている。

そのために、豊後南画や大分市にゆかりのある作家の優れた作品などの収集保存活動をはじめとし、調査研究活動、展示活動、教育普及活動、広報活動という5部門の活動を通じて、文化・芸術の振興につとめている。

また、特色ある地域の美術文化情報を広く発信し、開かれた美術館として市民との協働による運営を推進している。

2. 沿革

昭和 60(1985)年		展示用美術作品の購入開始
昭和 62(1987)年	6 月	市長、6 月議会において、美術館建設を表明 教育委員会社会教育課を所管事務担当とする
昭和 63(1988)年	8 月	大分市美術館基本構想委員会設置(委員 15 名、会長高山辰雄画伯)
平成元(1989)年	3 月	ハイビジョン・シティ構想(郵政省)のモデル都市指定を受ける
	9 月	大分市美術館基本構想委員会が大分市美術館基本構想を答申
平成 2(1990)年	2 月	大分市美術館建設委員会設置(委員 17 名、会長高山辰雄画伯)
	4 月	教育委員会庶務課に美術館建設事務従事を置く
	5 月	美術館建設予定地を上野丘陵地に決定 (第 2 回大分市美術館建設委員会)
	6 月	(仮称)大分市美術館美術作品収集委員会設置要綱制定(委員 9 名)
平成 3(1991)年	4 月	設計者を内井昭蔵建築設計事務所と決定 (指名 5 社のプロポーザル方式、第 4 回大分市美術館建設委員会)
	9 月	上野丘公園が「平成記念子どものもり公園(建設省)」に指定される
	10 月	市長、「美術館建設計画の見直し」を発表
平成 5(1993)年	4 月	教育委員会文化振興課を所管事務担当とする
平成 7(1995)年	9 月	美術館基本・実施設計委託(内井昭蔵建築設計事務所)
	12 月	美術館基本設計終了
平成 8(1996)年	4 月	教育委員会に美術館建設準備室を設置
	5 月	美術館実施設計完了
	9 月	美術館敷地造成工事着工
	12 月	美術館敷地造成工事完成 美術館新築工事着工
平成 10(1998)年	6 月	美術館本体工事完成
	9 月	美術館外構工事完成「大分市美術館条例」制定
	12 月	大分市美術館発足
平成 11(1999)年	2 月	17 日、開館
平成 12(2000)年	11 月	第 41 回建築業協会賞受賞
平成 14(2002)年	2 月	観覧者が 50 万人を超える
平成 16(2004)年	7 月	16 日、皇太子殿下行啓
平成 18(2006)年	4 月	機構改革により二課体制を一課とし、美術振興課設置
平成 19(2007)年	8 月	観覧者が 100 万人を超える
平成 20(2008)年	11 月	秋篠宮殿下お成り
平成 21(2009)年	2 月	開館 10 周年記念式典挙行
平成 23(2011)年	8 月	観覧者が 150 万人を超える
平成 25(2013)年	8 月	観覧者が 200 万人を超える
平成 28(2016)年	2 月	観覧者が 250 万人を超える

3. 展覧会事業

3. 1. 特別展

3. 1. 1. 大分のアートシーン CIAO! “進世代”の胎動

概要 近年、大分市を中心に別府市、国東市、竹田市、由布市などに拠点を置きながら大分のアートシーンに刺激を与え、魅力ある活動を展開する若手アーティストたちが出現している。その中には、大分で生まれ育った美術家だけでなく、県外から移り住み大分に新たな風を送り込んでいる創造性豊かな美術家も多く、大分ならではの現代アートを生み出している。

本展覧会では、活況を呈している大分のアートシーンで斬新で個性的な活動を続ける若手アーティスト9組、有馬晋平、遠藤ももこ、Olectronica、Kana（ともひろかなこ）、勝正光、北村直登、ザ・キャビンカンパニー、中野マーク周作、森貴也の作品を紹介した。

展覧会タイトルの“CIAO”はイタリア語で親しいもの同士の挨拶を意味すると同時に、Creative Innovation Artists in Oita（大分の創造的な革新アーティスト）の略称。また“進世代”とは大分の芸術文化の特色としてあげられる進取の気風を持った新しい世代という意味の造語である。

会期 平成28年4月14日（木）～5月8日（日） 公開日数23日間

主催 大分市美術館

後援 大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム、ゆふいんラジオ局

出品点数 絵画、彫刻、インスタレーションほか 245点

観覧者数 6,135人

観覧料 一般500（400）円／高大生300（250）円、中学生以下無料
※（ ）内は20人以上の団体料金

関連行事 ■ザ・キャビンカンパニー [アーティストトーク等]

絵本よみきかせ&サイン会（無料）

日時 平成28年4月16日 午後2時～3時30分

場所 美術館ハイビジョンホール

参加者 78人

■森貴也 [ワークショップ]

未来へ走るタイムカプセルカーをつくろう！

（要観覧料、参加費500円）

日時 平成28年4月17日 午後2時～3時30分

場所 展覧会場及び研修室

参加者 20人（保護者含む）

■Olectronica [ワークショップ]

小さい人形を作ろう！(参加費 300 円)

日 時 平成 28 年 4 月 23 日 午後 2 時～3 時 30 分
場 所 アートラウンジ (図書コーナー前)
参加者 15 人 (保護者含む)

■アーティストフォーラム (無料)

日 時 平成 28 年 4 月 24 日 午後 2 時～3 時 30 分

場 所 美術館研修室

講 師 有馬晋平、遠藤ももこ、Olectronica、Kana (ともひろかなこ)、
勝正光、北村直登、中野マーク周作、森貴也

参加者 102 人

■勝正光 [アーティストトーク]

はじめて発表する作品について、言葉を見つけてみる (要観覧料)

日 時 平成 28 年 5 月 1 日 午後 2 時～3 時 30 分

場 所 展覧会場

参加者 25 人

■北村直登 [公開制作]

公開制作 (要観覧料)

日 時 平成 28 年 5 月 3 日 午後 2 時～3 時 30 分

場 所 展覧会場

参加者 123 人

■Kana (ともひろかなこ) [ワークショップ・アーティストトーク]

こねこねワークショップ「小さな世界」&アーティストトーク
(要観覧料)

日 時 平成 28 年 5 月 4 日 午後 2 時～3 時 30 分

場 所 展覧会場

参加者 20 人 (保護者含む)

■中野マーク周作 [ワークショップ]

粘土による造形 (要観覧券、参加費 300 円)

日 時 平成 28 年 5 月 5 日 午後 2 時～3 時 30 分

場 所 展覧会場

参加者 20 人 (保護者含む)

■遠藤ももこ [ワークショップ]

プラントハンターになろう！(要観覧料)

日 時 平成 28 年 5 月 7 日 午後 2 時～3 時 30 分

場 所 美術館研修室

参加者 20 人 (保護者含む)

■有馬晋平 [アーティストトーク]

杉から生まれるカタチ (無料)

日 時 平成 28 年 5 月 8 日 午後 2 時 ~ 3 時 30 分

場 所 美術館ハイビジョンホール

参加者 78 人

印刷物 . ポスター B2 判、チラシ A3 判 (二つ折り)

関連記事 山出淳也「CIAO! “進世代”の胎動を見て」『大分合同新聞』5月2日
(担当 菅、岡村)

大分のアートシーン CIAO(チャオ)！ “進世代”の胎動 目録

No.	作者	作品名	制作年	技法・素材	備考
1	遠藤ももこ	まるともも	2012	油彩・キャンバス	
2	遠藤ももこ	無限少女1	2016	油彩・パネル	
3	遠藤ももこ	無限少女2	2016	油彩・パネル	
4	遠藤ももこ	独占欲	2014	油彩・パネル	
5	遠藤ももこ	あじさい	2013	アクリル・キャンバス	
6	遠藤ももこ	flower	2014	アクリル・キャンバス	
7	遠藤ももこ	ゆめ	2013	アクリル・キャンバス	
8	遠藤ももこ	pink1	2012	油彩・パネル	
9	遠藤ももこ	pink2	2016	油彩・パネル	
10	遠藤ももこ	女の子のために…	2012	油彩・パネル	
11	遠藤ももこ	朝の風景	2010	油彩・パネル	
12	遠藤ももこ	ソファのある風景1	2011	油彩・パネル	
13	遠藤ももこ	ソファのある風景2	2012	油彩・パネル	
14	遠藤ももこ	ピアノを弾く人	2010	油彩・キャンバス	
15	遠藤ももこ	ひっこし	2010	油彩・パネル	
16	遠藤ももこ	おはなし	2009	油彩・パネル	
17	遠藤ももこ	霧の入り口	2013	油彩・パネル	
18	遠藤ももこ	霧の中	2013	油彩・パネル	
19	遠藤ももこ	備忘録	2014	油彩・パネル	
20	ザ・キャビン カンパニー	怪物園	2016	アクリル・ダン ボール、木ほか	
21	ザ・キャビン カンパニー	絵本原画	2016	アクリル・ダン ボール、木ほか	
22	ザ・キャビン カンパニー	光る南蛮船	2016	アクリル、鉛筆・ 布キャンバスほか	
23	ザ・キャビン カンパニー	絵本プロモーション ムービー	2016	テレビ	
24	ザ・キャビン カンパニー	絵本ラフスケッチ	2014	鉛筆・紙ほか	
25	ザ・キャビン カンパニー	手づくり絵本	2014	印刷物	
26	ザ・キャビン カンパニー	絵本『だいたいおういかの いかたろう』	2014	印刷物	すずき出版
27	ザ・キャビン カンパニー	絵本『よるです』	2014	印刷物	借成社出版

No.	作者	作品名	制作年	技法・素材	備考
28	ザ・キャビン カンパニー	絵本『ほこほこのがっ こう』	2015	印刷物	小学館出版
29	ザ・キャビン カンパニー	絵本『ハテナはかせのへ んてこいきものずかん』	2015	印刷物	偕成社出版
30	ザ・キャビン カンパニー	絵本『はみがきあわこ ちゃん』	2015	印刷物	すずき出版
31	olectronica	絵画(黒と緑の家具)	2016	ペンキ・木パネル	
32	olectronica	Wood figure	2012-16	アクリル絵具・木	
33	olectronica	絵画(風景1)	2013	ペンキ・木パネル	
34	olectronica	絵画(風景2)	2013	ペンキ・木パネル	
35	olectronica	絵画(風景3)	2013	ペンキ・木パネル	
36	olectronica	Jiki figure 白い光景	2016	ミクストメディ ア・磁器、木	
37	olectronica	Jiki figure	2016	ミクストメディ ア・磁器、木	
38	olectronica	Jiki figure 底のない 箱	2016	磁器、木、ガラス	
39	北村直登	ma o	2007	ミクストメディ ア・キャンバス	
40	北村直登	大きな生	2006	ミクストメディ ア・キャンバス	
41	北村直登	全ての生き物が楽しく 生きている様子	2007	ミクストメディ ア・キャンバス	
42	北村直登	25の男です	2005	ミクストメディ ア・キャンバス	
43	北村直登	レールを外れるのも普通 な人生だから ライオン	2015	ミクストメディ ア・キャンバス	
44~ 215	北村直登	作品(小品)	2016他	ミクストメディ ア・キャンバス	
216	有馬晋平	スギコダム	2015	木	
217	有馬晋平	スギコダム	2015	木	
218	有馬晋平	スギコアナ	2014	木	
219	有馬晋平	スギコダム	2015	木	
220	有馬晋平	マケット	2010-15	木	
221	Kana (ともひ ろかなこ)	ユニコ〜ンM1	2015	ソフトスカルプ チャー	
222	Kana (ともひ ろかなこ)	ユニコ〜ンM2	2015	ソフトスカルプ チャー	
223	Kana (ともひ ろかなこ)	SoftSculptures	2013 他	ソフトスカルプ チャー	
224	Kana (ともひ ろかなこ)	壁掛けちえりっこ	2016	ソフトスカルプ チャー	
225	Kana (ともひ ろかなこ)	壁掛けユニコ〜ン	2016	ソフトスカルプ チャー	
226	Kana (ともひ ろかなこ)	阿行ちえりっこ坐像	2016	ソフトスカルプ チャー	

No.	作者	作品名	制作年	技法・素材	備考
227	Kana (ともひろかなこ)	畔行ちえりっこ立像	2016	ソフトスカルプチャー	
228	Kana (ともひろかなこ)	フラワーアフロちゃん	2015	オイルパステル・スクラッチ	
229	Kana (ともひろかなこ)	ユニコ～ンL1	2015	ソフトスカルプチャー	
230	Kana (ともひろかなこ)	ヘンゼルとグレーテル in大分市美術館	2016	オイルパステル・スクラッチ	
231	Kana (ともひろかなこ)	変身ちえりっこ	2015	ソフトスカルプチャー	
232	Kana (ともひろかなこ)	ちびぞうくん	2015	ソフトスカルプチャー	
233	Kana (ともひろかなこ)	ジャーニー	2002	ソフトスカルプチャー	
234	中野マーク周作	MARK MUSEUM 恐竜から動物に進化	2016	陶器他	
235	中野マーク周作	MARK MUSEUM 鬼のめん	2016	陶器	
236	中野マーク周作	MARK MUSEUM 空想怪獣の進化	2016	陶器	
237	中野マーク周作	MARK MUSEUM 空想ハニワ (魔物と戦士)	2016	陶器、七島藁、縄	
238	中野マーク周作	MARK MUSEUM 怪獣の塔	2016	陶器	
239	中野マーク周作	MARK MUSEUM 怪獣軍団	2016	陶器	
240	勝正光	outside drawing/exhibition #1	2016	紙、木、鏡他	
241	森貴也	タイムカプセルカーロード	2016	ミクストメディア	
242	森貴也	境界 ～cube～	2013-16	鉄、ステンレス	
243	森貴也	回帰	2009	鉄、ステンレス	朝倉文夫記念館蔵
244	森貴也	境界 (大分市美術館屋外作品のマケット)	2013	鉄、ステンレス、木	
245	森貴也	月まで届く	2015	鉄、ステンレス、木、F.R.P	※常設展示棟展望ロビー外に展示

3. 1. 2. 画業 20 周年 片岡鶴太郎展 還暦紅

概要 片岡鶴太郎（1954～）は、俳優・タレントとして、様々なメディアで活躍を続ける一方で、墨彩画や陶芸、書等、様々な作品の制作にも取り組み、全国各地で展覧会を開催する芸術家でもある。
本展では、絵画、着物絵付け、陶器等約 130 点を展示して、片岡鶴太郎の 20 年間の画業の容を紹介した。

会期 平成 28 年 5 月 13 日（金）～7 月 3 日（日） 公開日数 46 日間

主催 片岡鶴太郎展還暦紅大分実行委員会、大分市美術館、大分合同新聞社、OAB 大分朝日放送、片岡鶴太郎展還暦紅実行委員会

後援 OCT 大分ケーブルテレコム、エフエム大分、ノースエフエム、ゆふいんラジオ局、シティ情報おおいた

出品点数 日本画、洋画、工芸、書等、計 130 点及び関連資料

観覧者数 29,902 人

観覧料 一般 1,000（800）円／高大生 700（500）円、中学生以下無料
※（ ）内は 20 人以上の団体料金

関連行事 ■片岡鶴太郎氏サイン会（事前にはがきで申し込み、当日図録購入者）
日時 平成 28 年 5 月 13 日 午後 2 時～3 時
場所 研修室
参加者 120 人

展示解説 ■美術館職員による展示解説（要観覧料）
日時 平成 28 年 5 月 18 日、25 日、6 月 1 日、8 日、15 日、22 日、29 日
午後 2 時～
場所 企画展示室
参加者 357 人

印刷物 ポスター B2 判、チラシ A4 判

関連記事 「片岡鶴太郎展 還暦紅 13 日から大分市美術館」『大分合同新聞』5 月 8 日
「あすから片岡鶴太郎展 大分市美術館」『大分合同新聞』5 月 12 日
「鶴太郎さん 20 年の足跡 大分市美術館で個展開幕」『大分合同新聞』5 月 13 日
「沈みがちな心、元気に」大分市美術館、片岡鶴太郎さん作品展『朝日新聞』5 月 14 日

（担当／大神）

3. 1. 3. チームラボアイランド 踊る!美術館と、学ぶ!未来の遊園地

概要 チームラボとは、プログラマ・エンジニア、数学者、建築家、デザイナー、アニメーター、絵師など、様々なスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。本展は、チームラボの多彩な活動の中でも、世界的に評価の高いアート作品と、子供たちに大人気の「チームラボアイランド—学ぶ!未来の遊園地—」が同時に体験できる、世代を超えて楽しめる展覧会となった。

会期 平成28年7月15日(金)～9月25日(日) 公開日数71日間

主催 大分市美術館、TOS テレビ大分、チームラボアイランド2016大分実行委員会

共催 大分合同新聞社

後援 シティ情報おおいた、エフエム大分

出品コンテンツ 10点

- (1) Universe of Water Particles／憑依する滝
- (2) 花と人 コントロールできないけれども、共に生きる —A Whole Year per Hour
- (3) 百年海図巻 アニメーションのジオラマ
- (4) 世界は、統合されつつ、分割もされ、繰り返しつつ、いつも違う
- (5) 追われるカラス、追うカラスも追われるカラス、そして分割された視点
- Light in Dark
- (6) まだ かみさまが いたるところにいたころの ものがたり
- (7) 小人が住まうテーブル
- (8) 光のボールでオーケストラ
- (9) お絵かき水族館
- (10) つくる!僕の天才ケンケンパ

観覧者数 79,645人

観覧料 一般1,500(1,300)円/高大生1,200(1,000)円、中学生以下無料
※()内は20人以上の団体料金

関連行事 ■夜間特別開館(2時間延長)

日時 平成28年9月22日～25日 午後6時～8時

観覧者数 481人(4日間の夜間開館観覧者合計※4日間の観覧者総計の約7%)

印刷物 ポスターB2判、チラシA4判

関連記事 「チームラボ展 7万人を突破」『大分合同新聞』9月21日

(担当 野田)

3. 1. 4. ミュシヤ展

概要 アルフォンス・ミュシヤ（ミュシヤはフランス語表記、チェコ語はムハ。1860～1939）は、オーストリア帝国に属していたチェコに生まれ、幼い時より絵を描き続け、近隣の領主エゴン伯爵にその才能を認められ、1887年、伯爵の援助を受け、パリに美術留学しました。しかし、1889年、突如、援助を打ち切られたために、挿絵などを描いて生計を立てざるを得なくなりました。

1894年の暮れ、大女優サラ・ベルナールが主演する正月公演のポスターの依頼を受け、短期間でポスター《ジスモンダ》を制作、このポスターは圧倒的な人気を博し、ミュシヤは無名の挿絵画家から一躍、デザイン界のスターとなりました。

その後、サラの芝居のポスターをはじめ、菓子、香水、自転車、旅行などの広告ポスターや装飾パネル、さらに豪華本の挿絵などを次々に制作、1900年にはパリ万国博覧会でも注目を集め、アール・ヌーヴォーの旗手としての地位を不動のものとししました。

1910年、パリでの栄光を捨て故郷チェコに帰り、スラヴ民族・文化に関わる作品に取り組み、そして、1918年独立を果たしたチェコスロバキアの国家行事のポスター、紙幣、切手などのデザインを次々に手がけました。

本展では、代表作《ジスモンダ》（アメリカンツアー、1895年）をはじめ、ポスターから、装飾パネル、本の挿絵、雑誌の表紙、ポストカード、切手、紙幣に至るまでミュシヤの制作活動の全容を紹介しました。

※本展は大分合同新聞創刊130周年記念事業、国際協力啓発月間事業

会期 平成28年10月3日（土）～11月8日（日） 公開日数 34日間

主催 大分市美術館、大分合同新聞社、ミュシヤ展実行委員会

特別協賛 ヤクシングループ

協賛 アンジェリック クリニック 浦田、大分銀行、国際ソロプチミスト大分・みどり・府内、三井住友銀行、吉伴株式会社

後援 チェコ共和国大使館、チェコセンター、大分・チェコ友好協会、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、OCT 大分ケーブルテレコム、ノースエフエム、ゆふいんラヂオ局

協 力 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）、箱根ラリック美術館、OZ
AWAコレクション、KATOコレクション、OGATAコレクション、大
分 大学、大分県立芸術文化短期大学、大分県立芸術緑丘高等学校、大分県
立鶴崎工業高等学校

企画協力 文化企画

出品点数 467 点

観覧者数 16,993 人

観覧料 一般 1,200 (1,000) 円／高大生 900 (700) 円、中学生以下無料
※ () 内は前売り、20 人以上の団体料金

関連行事 ■高校生によるミュシャポスターデザイン展 (無料)

会 期 平成 28 年 10 月 5 日～10 月 20 日

会 場 美術館研修室

展示数 66 点

■高校生によるミュシャポスターの展示 (無料)

会 期 11 月 8 日～11 月 17 日

11 月 22 日～12 月 2 日

場 所 ハニカムプラザ 1F

展示数 各 8 点

■ideal Picture 2016 [0 と 1 と] (無料)

会 期 平成 28 年 11 月 10 日～11 月 27 日

会 場 美術館研修室

観覧者数 963 人

■講演会

①ミュシャとその時代 (無料)

日 時 平成 28 年 11 月 6 日 午後 1 時 30～3 時

場 所 美術館ハイビジョンホール

講 師 菅章 (大分市美術館館長)

参加者 64 人

② [0と1と] ミュシャ (無料)

日 時 平成 28 年 11 月 12 日 午後 1 時 30～3 時

場 所 美術館ハイビジョンホール

講 師 於保政昭氏 (大分県立芸術文化短期大学デザイン専攻講師)

参加者 68 人

■コレクター尾形寿行によるギャラリートーク (要観覧料)

場 所 企画展示室 1、2

講 師 尾形寿行氏 (コレクター)

参加者 517 人 (14 回合計)

■原きよ 美術館朗読ライブ企画「ミュシャ展に寄せて」 (無料)

日 時 平成 28 年 10 月 23 日 午後 3 時～4 時

場 所 美術館ハイビジョンホール

出 演 原きよ氏 (朗読家)

参加者 124 人

■音楽会 (無料)

日 時 平成 28 年 11 月 20 日 午後 2 時～3 時

場 所 美術館ハイビジョンホール

出 演 河井美恵氏 (ソプラノ)、小町美佳氏 (ピアノ)

参加者 69 人

■ワークショップ

①自分のミュシャをつくろう 大人のぬり絵講座 (無料)

日 時 平成 28 年 10 月 9 日、16 日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

場 所 チャイルドハウス

講 師 塔鼻映子氏 (カラーデザイナー)

参加者 44 人

②大分合同新聞アストビ企画

自分のミュシャをつくろう 大人のぬり絵講座 (有料)

日 時 平成 28 年 10 月 20 日 午後 2 時～4 時

場 所 チャイルドハウス

講 師 塔鼻映子氏 (カラーデザイナー)

参加者 28 人

③髪飾りを作ってなりきりミュシャ！（無料）

日 時 平成 28 年 11 月 13 日 午後 1 時 30 分～4 時

場 所 チャイルドハウス、企画展示室

講 師 廣瀬剛氏（大分大学教育学部教授）

参加者 12 人

④ヤクシンプレゼンワークショップ

髪飾りを作ってなりきりミュシャ！（無料）

日 時 平成 28 年 10 月 27 日 午後 1 時 20 分～3 時 15 分

場 所 美術館研修室

講 師 廣瀬剛氏（大分大学教育学部教授）

参加者 10 人（大分県立聾学校児童、生徒）

⑤ミュシャ [もしゃ] スタンプ（無料）

日 時 平成 28 年 11 月 27 日 午後 1 時～3 時 30 分

場 所 美術館研修室

講 師 於保政昭氏（大分県立芸術文化短期大学デザイン専攻講師）

野村菜美氏（大分県立芸術文化短期大学非常勤講師）

大分県立芸術文化短期大学メディアデザインコース於保研究室

参加者 31 人

⑥デモンストレーション [体験・複製技術]（無料）

日 時 平成 28 年 11 月 13 日 午後 4 時 30 分～6 時

場 所 美術館研修室

講 師 於保政昭氏（大分県立芸術文化短期大学デザイン専攻講師）

野村菜美氏（大分県立芸術文化短期大学非常勤講師）

大分県立芸術文化短期大学メディアデザインコース於保研究室

参加者 25 人

■ミュシャ風イラスト募集の応募作品展示

期 間 ミュシャ展会期中

展示数 一般 32 点、小学生 160 点、計 192 点

展示場所 ハイビジョンブース

展示解説 ■美術館職員による展示解説（要観覧料）

日 時 会期中毎週水曜日 午後 2 時～

場 所 企画展示室

参加者 295 人

印刷物 ポスターB2判・チラシA4判

関連記事 「鶴工3年生塩崎さん デザイン最優秀賞 ミュシャ展ポスター」『大分合同新聞』8月6日

「森さん 曲線美に引かれる」『大分合同新聞』夕刊9月6日

「ミュシャ 美の歩み」『大分合同新聞』10月1日

「描写力が高く 大きな表現 コレクター、尾形さんが魅力紹介」『大分合同新聞』夕刊10月18日

「(ひと) 魅力全て知ってほしい」『大分合同新聞』10月19日

「(OITA MODE) ミュシャの“美”を手元に」『大分合同新聞』夕刊10月19日

「(明日への扉) 感動“私だけのミュシャ”」『大分合同新聞』10月21日

「ミュシャ優美な女性 460点」『読売新聞』10月21日

「女性像になりきる」『大分合同新聞』10月29日

「(訴える力) ミュシャのように」『大分合同新聞』10月30日

「大分市美術館でミュシャ展始まる 物憂げな女性 モダンの香り」『大分合同新聞』夕刊10月8日

「ミュシャの物語世界へ 白い象の伝説 感情込め朗読」『大分合同新聞』夕刊11月1日

「ミュシャ展(上)『黄道十二宮』」『大分合同新聞』夕刊11月10日

「ミュシャ展(中)『羽根』『桜草』」『大分合同新聞』夕刊11月11日

「ミュシャ展(下)『10コルナ紙幣』」『大分合同新聞』夕刊11月12日

「ミュシャ展でリトグラフ作り」『大分合同新聞』11月19日

「ミュシャ展 観覧1万人突破」『大分合同新聞』夕刊11月19日

県立芸術文化短期大学美術科講師 於保政昭「共同幻想に大衆巻き込む」『大分合同新聞』夕刊11月22日

「出世作 新たに展示 ミュシャ展 残り3日」『大分合同新聞』12月2日

大分大学教育学部教授 廣瀬剛「人物と背景つなぐ装具 一体化させる技術突出」『大分合同新聞』12月3日

(担当 岩尾)

ミュシャ展 目録

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	ポスターの巨匠たち、ジスモンダ	1896	40.0×18.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
2	ポスターの巨匠たち、ロレンザッチオ	1896	40.0×18.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
3	ポスターの巨匠たち、椿姫	1896	40.0×18.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
4	ポスターの巨匠たち、サマリヤの女	1896	40.0×18.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
5	ポスターの巨匠たち、サロン・デ・サン	1896	44.0×28.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
6	ポスターの巨匠たち、ムース川のビール	1896	44.0×28.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
7	ジョブ	1896	55.5×43.0	カラーリトグラフ	KATOコレクション
8	JOB シリーズ シャンプノワ社製	1897	14.0×10.0	ポストカード	OGATAコレクション
9	サロン・デ・サン 第20回展	1896	62.0×40.5	カラーリトグラフ	KATOコレクション
10	サロン・デ・サンでのミュシャ展	1897	64.5×44.5	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
11	サラ・ベルナール	1896	25.0×16.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
12	「トリポリの姫君イルゼ」を演じるサラ・ベルナール	1898	25.0×17.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
13	ジスモンダ アメリカンツアー	1895	194.0×71.0	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
14	ジスモンダ	1894	220.0×82.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
15	ルフェーヴル・ユティル	1900	61.0×44.5	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
16	パリ万博のオーストリア館のポスター	1900	96.0×63.0	カラーリトグラフ	箱根ラリック美術館
17	黄道十二宮 ラ・プリュム誌のカレンダー	1896	64.0×47.0	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
18	モナコ・モンテ・カルロ	1897	110.5×76.5	カラーリトグラフ	KATOコレクション
19	リュション	1895	104.0×73.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
20	ル・ゴロワ ジスモンダ	1894	29.0×20.0	季刊行誌挿絵	OGATAコレクション
21	ル・ゴロワ ジスモンダ	1894	29.0×20.0	季刊行誌挿絵	OGATAコレクション
22	ル・ゴロワ ジスモンダ	1894	29.0×20.0	季刊行誌挿絵	OGATAコレクション
23、24	サラベルナール劇場のパンフレット 2枚	1905	16.5×15.0他	印刷	OGATAコレクション
25	ロレンザッチオ	1896	102.0×35.5	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
26	ルネッサンス劇場のポスター	1897	115.0×81.5	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
27	レスタンプ・モデルヌのポスター	1897	79.0×56.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
28	レスタンプ・モデルヌ表紙	1897	39.5×27.5	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
29	レスタンプ・モデルヌ サロメ	1897	42.0×32.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
30	最高のチョコレート	1897	117.0×78.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
31	インカのワイン	1899	60.0×198.0	カラーリトグラフ	箱根ラリック美術館
32	ビザンチン	1907	24.0×35.5	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
33	花言葉	1907	24.0×35.5	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
34	春	1896	87.0×52.5	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
35	夏	1896	87.0×52.5	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
36	秋	1896	87.0×52.5	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
37	冬	1896	87.0×52.5	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
38	秋	1900	71.0×32.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
39	秋の下絵	1900	84.0×37.0	鉛筆、インディアン インク	箱根ラリック美術館
40	カーネーション	1897	103.0×43.0	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
41	百合	1897	103.0×43.0	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
42	バラ	1897	103.0×43.0	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
43	アイリス	1897	103.0×43.0	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
44	ビザンティン風の頭部 ブルネット	1897	34.0×29.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
45	ビザンティン風の頭部 ブロンド	1897	34.0×29.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
46	朝の目覚め	1899	106.0×37.0	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
47	昼の輝き	1899	106.0×37.0	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
48	夕べの夢想	1899	106.0×37.0	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
49	夜の安らぎ	1899	106.0×37.0	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
50	黄昏	1899	45.0×87.5	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
51	夜明け	1899	45.0×87.5	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
52	夢想、シャンプノア	1897	65.0×50.0	カラーリトグラフ	KATOコレクション
53	羽根	1899	71.0×27.3	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
54	桜草	1899	71.0×27.5	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
55	トパーズ	1900	63.3×27.6	カラーリトグラフ	堺市 蔵/ドイ コレク ション
56	エメラルド	1900	63.3×27.6	カラーリトグラフ	堺市 蔵/ドイ コレク ション
57	アメジスト	1900	63.3×27.6	カラーリトグラフ	堺市 蔵/ドイ コレク ション
58	ルビー	1900	63.3×27.6	カラーリトグラフ	堺市 蔵/ドイ コレク ション
59	装飾資料集のポスター	1901	61.0×48.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
60	装飾資料集 カバー	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
61	装飾資料集 表紙	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
62	装飾資料集 初頁	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
63	装飾資料集 結びの頁	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
64	装飾資料集 PL19	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
65	装飾資料集 PL28	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
66	装飾資料集 PL42	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
67	装飾資料集 PL40	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
68	装飾資料集 PL39	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
69	装飾資料集 PL41	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
70	装飾資料集 PL33	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
71	装飾資料集 PL36	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
72	装飾資料集 PL54	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
73	装飾資料集 PL35	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
74	装飾資料集 PL60	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
75	装飾資料集 PL44	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
76	装飾資料集 PL32	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
77	装飾資料集 PL31	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
78	装飾資料集 PL34	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
79	装飾資料集 PL37	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
80	装飾資料集 PL43	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
81	装飾資料集 PL55	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
82	装飾資料集 PL66	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
83	装飾資料集 PL61	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
84	装飾資料集 PL65	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
85	装飾資料集 PL62	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
86	装飾資料集 PL59	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
87	装飾資料集 PL58	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
88	装飾資料集 PL70	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
89	装飾資料集 PL68	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
90	装飾資料集 PL69	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
91	装飾資料集 PL63	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
92	装飾資料集 PL67	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
93	装飾資料集 PL71	1903	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
94	装飾資料集 PL72	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
95	装飾資料集 PL64	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
96	装飾資料集 PL51'	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
97	装飾資料集 PL50	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
98	装飾資料集 PL49	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
99	装飾資料集 PL15	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
100	装飾資料集 PL21	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
101	装飾資料集 PL16	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
102	リトグラフ資料集 PL2	1900年頃	28.0×38.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
103	リトグラフ資料集 PL14	1900年頃	28.0×38.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
104	リトグラフ資料集 PL7	1900年頃	28.0×38.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
105	装飾資料集 PL27	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
106	装飾資料集 PL25	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
107	装飾資料集 PL26	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
108	装飾資料集 PL23	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
109	装飾資料集 PL24	1902	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
110	植物百科事典、ヒース	1904	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
111	植物百科事典、キク	1904	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
112	装飾人物集 FD17	1905	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
113	装飾人物集 FD36	1905	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
114	装飾人物集 FD12	1905	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
115	装飾人物集 FD30	1905	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
116	装飾人物集 FD40	1905	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
117	装飾人物集 FD5	1905	46.9×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
118	装飾人物集 FD13	1905	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
119	装飾人物集 FD16	1905	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
120	装飾人物集 FD3	1905	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
121	装飾人物集 FD11	1905	46.0×33.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
122	おばあさんのお話	1892	30.0×20.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
123	青いメガネ	1892	26.0×18.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
124	決して満足することはない	1895	25.0×15.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
125	ローランドの冒険	1896	27.0×18.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
126	ドイツ史の諸場面とエピソード	1896	33.0×26.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
127	ル・モンド・モデルヌ	1897	23.0×12.0	リトグラフ	OGATAコレクション
128	トリポリの姫君イルゼ	1897	29.8×24.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
129	永遠の歌	1898	29.0×21.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
130	家庭と学校の詩集	1898	27.5×19.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
131	沈没船のハンター	1898	27.0×19.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
132	放浪者	1897	40.0×30.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
133	アトリエのドキュメント	1898	21.0×29.5	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
134	写真芸術	1899	46.0×32.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
135	装飾美術辞典	1902	26.0×16.0	書籍表紙	OGATAコレクション
136	カルティエ・ラタン	1898	33.0×31.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
137	カルティエ・ラタン	1897	33.0×31.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
138	フィガロ・イリュストレ	1896	23.0×15.0	雑誌	OGATAコレクション
139	リマージュ	1896	29.5×21.5	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
140	プラハからパリへ	1900	30.0×40.0	書籍表紙	OGATAコレクション
141	「時の人：マリアーニ社アルバム」	1899	25.0×17.0他	紙 印刷	OGATAコレクション
142	ル・ゴロワ	1896	32.0×26.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
143	日曜日の太陽	1896	39.0×29.0	季刊行誌挿絵	OGATAコレクション
144	日曜日の太陽	1896	39.0×29.0	季刊行誌挿絵	OGATAコレクション
145	ココリコ-1	1899	30.0×23.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
146	ココリコ-4	1899	30.0×23.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
147	ココリコ-19	1900	30.0×23.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
148	ココリコ-24	1900	30.0×23.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
149	ココリコ-42	1902	30.0×23.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
150	ココリコ-62	1902	30.0×23.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
151	ボスニア・ヘルツェゴヴィナ館	1899	21.0×28.0	季刊行誌印刷	OGATAコレクション
152	通り過ぎる風が若さを奪い去る	1899	28.5×21.0他	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
153	季刊行誌「ココリコ」掲載の12月カレンダーより5月	1899	23.0×16.0	印刷	OGATAコレクション
154	季刊行誌「ココリコ」掲載の12月カレンダーより6月	1899	23.0×16.0	印刷	OGATAコレクション
155	季刊行誌「ココリコ」掲載の12月カレンダーより7月	1899	23.0×16.0	印刷	OGATAコレクション
156	季刊行誌「ココリコ」掲載の12月カレンダーより8月	1899	23.0×16.0	印刷	OGATAコレクション
157	季刊行誌「ココリコ」掲載の12月カレンダーより11月	1899	23.0×16.0	印刷	OGATAコレクション
158	季刊行誌「ココリコ」掲載の12月カレンダーより12月	1899	23.0×16.0	印刷	OGATAコレクション
159	「L'Le Rat s.c.」画集より 1月	不明	16.0×13.0	リトグラフ	OGATAコレクション
160	「L'Le Rat s.c.」画集より 7月	不明	16.0×13.0	リトグラフ	OGATAコレクション
161	「L'Le Rat s.c.」画集より 12月	不明	16.0×13.0	リトグラフ	OGATAコレクション
162	5月の愛	不明	21.0×14.0	リトグラフ	OGATAコレクション
163	バラ (art et Decoration より抜粋)	不明	26.0×17.0	リトグラフ	OGATAコレクション
164	ラ・ミゼレ (悲劇)	不明	34.0×20.0	リトグラフ	OGATAコレクション
165	ル・モンド・イリュストレ	1900	36.0×24.0	月刊行誌表紙	OGATAコレクション
166	書籍「トリポリの姫君イルゼ」の挿絵	1898	25.0×17.0	リトグラフ	OGATAコレクション
167	書籍「トリポリの姫君イルゼ」の挿絵	1898	25.0×17.0	リトグラフ	OGATAコレクション
168	書籍「トリポリの姫君イルゼ」の挿絵	1898	25.0×17.0	リトグラフ	OGATAコレクション
169	パリ イリュストレ 1900	1900	34.5×26.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
170	メニューとプログラムのイラストレーション	1898	33.0×51.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
171	白い象の伝説 (本)	1894	32.0×23.0	書籍	OGATAコレクション
172	白い象の伝説 (本)	1894	32.0×23.0	書籍	OGATAコレクション
173	白い象の伝説 (廉価版)	1921	15.0×10.0	書籍	OGATAコレクション
174	白い象の伝説 挿絵	1894	22.0×15.5	書籍挿絵	OGATAコレクション
175	白い象の伝説 挿絵	1894	22.0×15.5	書籍挿絵	OGATAコレクション
176	白い象の伝説 挿絵	1894	22.0×15.5	書籍挿絵	OGATAコレクション
177	白い象の伝説 挿絵	1894	22.0×15.5	書籍挿絵	OGATAコレクション

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
178	ル・イラストラシオン ノエル 1896-1897	1907	38.0×28.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
179	レネジー・フランセーズ	1906	29.0×21.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
180	ボルドーの生活	1906	26.0×37.0	季刊行誌挿絵	OGATAコレクション
181	ル・クリエ・フランセ	1897	38.0×28.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
182	リテラリー・ダイジェスト	1910	30.0×22.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
183	漁師	不明	36.0×24.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
184	スカウト・ユナーク	1909	30.0×22.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
185	マイ (グレイ)	1902	29.0×20.0	季刊行誌挿絵	OGATAコレクション
186	マイ (レッド)	1902	29.0×20.0	季刊行誌挿絵	OGATAコレクション
187	季刊行誌「シャミエール」の集会	1895	29.0×22.0	印刷	OGATAコレクション
188	季刊行誌「シャミエール」の集会	1895	29.0×22.0	印刷	OGATAコレクション
189	季刊行誌「シャミエール」の集会	1895	29.0×22.0	印刷	OGATAコレクション
190	ル・ヴリエール	1890	28.0×19.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
191	ル・ヴリエール	1890	28.0×19.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
192	ル・ヴリエール	1890	28.0×19.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
193	ル・ヴリエール	1890	28.0×19.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
194	ラ・ヴィ・ポピュレール	1890	30.0×21.0	雑誌	OGATAコレクション
195	ラビタシオン・プラティーク	1910	38.0×30.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
196	ドイツ史の諸場面とエピソード	1896	25.0×18.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
197	市庁舎周辺の群衆	1899	17.0×25.0	リトグラフ	OGATAコレクション
198	ハースツ・インターナショナル 1月	1922	35.0×26.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
199	ハースツ・インターナショナル 2月	1922	35.0×26.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
200	ハースツ・インターナショナル 4月	1922	35.0×26.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
201	ハースツ・インターナショナル 5月	1922	35.0×26.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
202	ハースツ・インターナショナル 6月	1922	35.0×26.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
203	ハースツ・インターナショナル 7月	1922	35.0×26.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
204	ハースツ・インターナショナル 12月	1922	35.0×26.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
205	ビザンチン風の頭部 ネット	1900	径21.0、高1.5	ブロンズ	OGATAコレクション
206	ビザンチン風の頭部 ブロンド	1900	径21.0、高1.5	ブロンズ	OGATAコレクション
207	感情-音楽と身振りー	1900	26.0×18.0	書籍挿絵	OGATAコレクション

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
208	サマリアの女	1897	24.0×19.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
209	ラマ	1898	27.7×22.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
210	ハチドリの谷	1898	18.5×11.5	書籍挿絵	OGATAコレクション
211	クリオ	1900	25.5×17.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
212	郵便切手 プラハ城	1918	2.5×3.0他	切手	OGATAコレクション
213	各種切手の転用、3セット	1920	2.5×3.0他	切手	OGATAコレクション
214	シャルル・ロリュウ社のカレンダー 表紙	1892	25.0×18.0	リトグラフ	OGATAコレクション
215	フィガロ・イリュストレ	1896	40.0×30.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
216	芸術の年	1902	31.0×20.0	雑誌	OGATAコレクション
217	ラ・プリュム	1897	25.0×18.0	雑誌	OGATAコレクション
218	ラ・プリュム	1897	25.0×18.0	雑誌	OGATAコレクション
219	ビュール・マッキントッシュ	1907	30.0×18.0	雑誌	OGATAコレクション
220	舞台衣装	1890	30.0×22.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
221	書籍「舞台衣装」から抜粋 イザナギのみこととイザナ ミのみことの舞台衣装	1890	25.0×30.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
222	ル・モア	1899	25.0×18.0	雑誌	OGATAコレクション
223	ル・モア	1899	25.0×18.0	雑誌	OGATAコレクション
224	ル・モア	1899	25.0×18.0	雑誌	OGATAコレクション
225	ル・プチ・フランセ イ リュストレ	1890	28.0×19.0	雑誌	OGATAコレクション
226	建築素描集	1899	24.5×15.8	書籍挿絵	OGATAコレクション
227~ 233	モエ・シャンドンのメ ニュー他、計7点	1901	18.0×14.0	メニュー	OGATAコレクション
234	シャンプノワ社の価格表	1899	30.0×21.0	価格表	OGATAコレクション
235	オムデコール社の価格表	1902	13.0×21.0	価格表	OGATAコレクション
236	特別出品：ミュシャ切手集 (ハンス・ユルゲン・ニン ケ氏所蔵) 16部	1920他	2.5×3.0他	切手、封筒ほか	ハンス・ユルゲン・ニ ンケコレクション
237	郵便切手 2種類シート展示	1919他	2.5×3.0他	郵便切手	OGATAコレクション
238	郵便切手 100枚シート	1918	27.0×33.0	郵便切手	OGATAコレクション
239	イヴァンチツェの地方祭	1919	13.5×8.0他	付加価値券	OGATAコレクション
240	領収書 (イヴァンチツェの 地方祭、他) 計2点	1919	13.0×8.0他	付加価値券	OGATAコレクション
241	宝くじ	1925	9.5×14.0	宝くじ	OGATAコレクション
242	10コルナ 紙幣	1919	8.0×14.0	紙幣	OGATAコレクション

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
243	50コルナ 紙幣	1920	8.5×14.0	紙幣	OGATAコレクション
244	100コルナ 紙幣	1920	7.5×15.0	紙幣	OGATAコレクション
245	500コルナ 紙幣	1919	9.0×19.0	紙幣	OGATAコレクション
246	ホワイトマン社のチョコレート缶容器 (大)	1900	17.0×20.0×5.5	缶容器	OGATAコレクション
247	ホワイトマン社のチョコレート缶容器	1900	10.5×19.0×5.5	缶容器	OGATAコレクション
248	ビスケット缶容器 2点	1910	11.5×20.0×9.0	缶容器	OGATAコレクション
249	アメリカンハウスのメダイヨン	1897	径12.0×2.5	陶器	OGATAコレクション
250	モエ・エ・シャンドンシャンパンパッケージ缶 (2本入り)	不明	35.0×20.0×10.0	缶容器	OGATAコレクション
251	モエ・エ・シャンドンシャンパンパッケージ缶 (1本入り)	不明	34.0×10.0×10.0	缶容器	OGATAコレクション
252	ランスの香水 ロド	1897	径3.0×17.0	香水瓶とラベル	OGATAコレクション
253	ウビガン社の「ケールド・ジャネット」香水瓶	1900	3.0×5.0×19.0	香水瓶とラベル	OGATAコレクション
254	紅茶パッケージ缶：アームストロング&クレイドンベドフォード社(イギリス)	不明	12.5×12.5×15.0	缶容器	OGATAコレクション
255	パリのシンボル	1900	径31.0×1.0	陶器	OGATAコレクション
256	パリの審判	1894	74.0×45.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
257	ローヌ化学工場のカレンダー	1898	14.0×10.5	リトグラフ	OGATAコレクション
258	トリナーズ ビター ワイン	1907	53.0×33.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
259	ショコラ・マッソンのカレンダー	1897	42.5×58.0	リトグラフ	OZAWAコレクション
260	ルフェーヴル・ユティルのカレンダー	1896	60.0×43.0	カラーリトグラフ	KATOコレクション
261	ゴーフル・バニラ缶容器のラベル	1910	17.5×17.5	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
262	ゴーフル・プラリネ缶容器のラベル	1910	17.5×17.5	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
263	ゴーフル・プラリネ缶容器のラベル	1910	28.0×38.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
264	ビスケット缶容器の包装紙 シャンパン	1910	30.0×38.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
265	ゴーフル・マデラ缶容器のラベル	1910	29.0×38.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
266	ビスケット缶容器のラベル、 メランジェ イタリア	1910	28.0×38.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
267	ゴーフル缶容器の包装紙 ミアルカ	1910	21.0×37.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
268	有価証券 パリ フランス	1898	38.0×37.0	有価証券	OGATAコレクション
269	有価証券 パリ フランス	1898	33.0×30.0	有価証券	OGATAコレクション
270	蔵書票	1920	17.0×12.0他	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
271	サラ・ベルナールの晩餐会のメニュー	1896	30.0×23.0	メニュー	OGATAコレクション

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
272	夜会のメニュー	1898	30.0×22.0	リトグラフ	OGATAコレクション
273	スラヴィア銀行の保険証書	1907	42.0×29.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
274~ 285	シャンブノワ社製 第4シ リーズ12点	1900	9.0×14.0	ポストカード	OGATAコレクション
286~ 297	シャンブノワ社製 第5シ リーズ 12点	1900	各14.0×9.0	ポストカード	OGATAコレクション
298~ 309	シャンブノワ社製 第1シ リーズ 12点	1900	各9.0×14.0	ポストカード	OGATAコレクション
310~ 321	シャンブノワ社製 第3シ リーズ 12点	1900	各14.0×9.0	ポストカード	OGATAコレクション
322~ 331	モエ・シャンドン・シリー ズ 10点	1900	各14.0×9.0	ポストカード	OGATAコレクション
332~ 343	シャンブノワ社製 第2シ リーズ 12点	1900	各9.0×14.0	ポストカード	OGATAコレクション
344~ 351	シャンブノワ社製 第7シ リーズ 8点	1901	各14.0×9.0	ポストカード	OGATAコレクション
352~ 363	シャンブノワ社製 第6シ リーズ 12点	1900	各14.0×9.0	ポストカード	OGATAコレクション
364~ 368	JOB シリーズ シャンブノ ワ社製 5点	1897	各9.0×14.0	ポストカード	OGATAコレクション
369~ 372	演劇ポスターシリーズ シ ノ社製 4点	1898	各9.0×14.0	ポストカード	OGATAコレクション
373	ポストカード各種	不明	各9.0×14.0	ポストカード	OZAWAコレクション
374	セントルイス万博	1903	98.0×71.0	カラーリトグラフ	KATOコレクション
375	ズデンカ・チェルニー	1913	185.0×110.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
376	レスリー・カーター	1908	209.0×80.0	カラーリトグラフ	OZAWAコレクション
377	リンゴを持つ少女	1920	49.0×52.0	油彩・カンヴァス	箱根ラリック美術館
378	ロシア復興	1922	80.0×47.0	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
379	イヴァンチツェの地方祭	1913	89.5×48.5	カラーリトグラフ	OGATAコレクション
380	チェコの心	1917	45.0×25.0	カラー印刷	OGATAコレクション
381	アダミット派	1897	28.0×23.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
382	チェコ周遊旅行	1898	28.5×38.0	書籍表紙	OGATAコレクション
383	主の祈り	1899	24.5×16.5	書籍挿絵	OGATAコレクション
384	リュミール	1902	30.0×20.0	隔週刊行誌挿絵	OGATAコレクション
385	モラビア	1902	23.5×18.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
386	ヤン・フス	1902	32.5×24.0	画集 リトグラフ	OGATAコレクション
387	奇跡の奇跡	1928	18.5×13.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
388	「ニナ」とその他の短編集	1902	18.5×13.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
389	バラードと歌	1904	13.0×7.5	書籍挿絵	OGATAコレクション
390	ボヘミアにて	1905	18.0×12.0	書籍挿絵	OGATAコレクション

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
391	ある日の物語	1918	23.0×18.5	書籍挿絵	OGATAコレクション
392	海の攻撃	1922	20.5×16.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
393	永遠に不満	1923	18.0×12.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
394	隷属の暗闇より 自由の太陽へ	1921	18.6×12.5	書籍挿絵	OGATAコレクション
395	スラヴィア 思いやり深い母たち	1935	24.0×16.0	書籍挿絵	OGATAコレクション
396～456	チェコで制作されたポストカード 61点	不明	各14.0×9.0	ポストカード	OGATAコレクション
457	1918-1928 独立10周年	1928			
458	国の目覚め	1918	58.0×43.0	リトグラフ	OGATAコレクション
459	チェコ音楽の殿堂	1928	48.0×38.0	印刷	OGATAコレクション
460	ズラタ・プラハ	1918	39.0×28.0	季刊行誌表紙	OGATAコレクション
461	カジノ・モンテカルロ	1921	79.5×52.0	リトグラフ	OGATAコレクション
462	テアター・モンテカルロ	1922	112.0×82.0	リトグラフ	OGATAコレクション
463	カジノ・モンテカルロ	1922	121.0×82.0	リトグラフ	OGATAコレクション
464	マサリック大統領ブルノ名誉市民証	1935	12.6×11.2	市民証	OGATAコレクション
465	スラブ叙事詩展のカタログ クレメンティム	1919	13.0×18.2	展示会カタログ	OGATAコレクション
466	スラブ叙事詩展のカタログ	1928	24.0×18.0	展示会カタログ	OGATAコレクション
467	スラブ叙事詩展のカタログ	1928	18.5×12.4	展示会カタログ	OGATAコレクション

3. 1. 5. 第65回 高文連 美術・書道・写真 中央展

概要 大分県高等学校文化連盟と共催して開催した展覧会。美術・写真展には35校・12校、書道展には36校が参加し、日々の創作活動に取り組む高校生たちの若々しくエネルギッシュな作品を紹介した。

【美術・写真展】

会 期 平成28年12月8日（水）～11日（日） 公開日数4日間

主 催 大分県高等学校文化連盟、大分市美術館

後 援 大分県教育委員会、大分県芸術文化振興会議、大分県美術協会、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム、シティ情報おおいた

出品点数 美術35校 191点、写真12校 108点

観覧者数 938人

観覧料 無料

【書道展】

会 期 平成28年12月15日（木）～18日（日） 公開日数4日間

主 催 大分県高等学校文化連盟、大分市美術館

後 援 大分県教育委員会、大分県芸術文化振興会議、大分県美術協会、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム、シティ情報おおいた

出品点数 36校 257点

観覧者数 940人

観覧料 無料

関連記事 「県高文連中央展美術・写真部門始まる」『大分合同新聞』12月8日

「県高文連中央展書道部門始まる」『大分合同新聞』12月15日

(担当 野田、岡村)

3. 1. 6. 第 68 回大分県立芸術緑丘高等学校美術制作展

概 要 本展は、全国でも数少ない美術専門高校である大分県立芸術緑丘高等学校が、開校以来、毎年開催しているもので、今年度は、美術科生徒 120 名の作品を展示し、一年間の制作活動の成果を紹介した。

会 期 平成 28 年 12 月 20 日（火）～12 月 25 日（日） 公開日数 6 日間

主 催 大分県立芸術緑丘高等学校、大分市美術館

後 援 大分県民芸術文化祭実行委員会、大分県芸術文化振興会議、
大分合同新聞社、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、
OAB 大分朝日放送、エフエム大分、OCT 大分ケーブルテレコム、
大分県立芸術緑丘高等学校美術後援会

出品点数 合計 187 点

（内訳） 1 年生 油絵 17 点、彫刻 14 点、デザイン 18 点、着彩 8 点、木炭デッサン 8 点、
鉛筆デッサン 7 点、計 72 点
2 年生 日本画 5 点、油絵 8 点、彫刻 6 点、デザイン 20 点、木炭デッサン 8 点、
鉛筆デッサン 11 点、計 58 点
3 年生 日本画 6 点、油絵 9 点、彫刻 4 点、ビジュアルデザイン 15 点、
クラフトデザイン 5 点、木炭デッサン 7 点、
鉛筆デッサン 11 点、計 57 点

観覧者数 1,232 人

観覧料 無料

（担当／大神・椎原）

3. 1. 7. 郷土在住作家展X 鈴木忠実展

概要 鈴木忠実は、1935（昭和10）年、大分市生まれ。1963年、独学で日本画を描き始め、翌年の第34回大分県美術展に《追憶》を出品し、初入選。1968年、宮崎武夫の勧めで、第18回新興美術院展に出品し佳作賞を受賞、同院会員となる。1980年、同院審査員、1991（平成3）年、同院理事、1998年、同院常任理事（2015年退会）。その間、日本美術協会賞（80・87年）、文部大臣奨励賞（93年）等、多くの受賞を重ね、2001年、大分県日本画協会会長となる。その一方で、日本画研究グループ「大分志炎会」や「浅葱会」等を主宰し、後進の育成に努めた。

本展では、初期の《乳児院》、80年代にヨーロッパを取材した《聖母》、90年代半ば以降インドをテーマにした《ガンガー》等シリーズより、厳選した代表作約80点及び関連資料を展示し、日本画家鈴木忠実の約55年にわたる画業の全貌を紹介した。

会期 平成29年1月11日（土）～1月29日（日） 公開日数17日間

主催 大分市美術館

後援 大分合同新聞社、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム

出品点数 日本画83点及び関連資料

観覧者数 1,756人

観覧料 一般500（400）円／高大生300（250）円、中学生以下無料
※（ ）内は20人以上の団体料金

関連行事 ■作家トーク（無料）
日時 平成29年1月21日 午後2時～3時
場所 美術館ハイビジョンホール
講師 鈴木忠実氏
参加者 170人

展示解説 ■美術館職員による展示解説（要観覧料）
日時 会期中毎週水曜日 午後2時～
場所 企画展示室
参加者 53人

印刷物 ポスターB2判、チラシA4判

関連記事 「鈴木忠実展始まる 大分市美術館で、29日まで」『大分合同新聞』1月11日
宗像健一「さらなる高みへ挑戦 鈴木忠実展」『大分合同新聞』1月21日
「鈴木忠実さんの作家トーク」『大分合同新聞』1月28日

（担当 大神）

鈴木忠実展目録

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	童心	1967	162.0 × 130.3	紙本着色	春季大分県美術展
2	神の島	1971	194.0 × 130.3	紙本着色	第7回大分県美術展／大分県美術協会優賞
3	紅顔	1973	162.0 × 130.3	紙本着色	第9回大分県美術展
4	老宣教師	1977	130.3 × 162.0	紙本着色	第27回新興美術院展
5	黙示録	1978	162.0 × 130.3	紙本着色	第14回大分県美術展
6	炎の日	1979	162.0 × 130.3	紙本着色	第29回新興美術院展
7	セント・エチエンヌ・ド・モント	1979	116.7 × 91.0	紙本着色	第9回大分県日本画展
8	オンフルール	1979	145.5 × 112.0	紙本着色	第15回記念大分県美術展
9	トレドの丘	1980	145.5 × 224.0	紙本着色	第30回記念新興美術院展
10	シャルトルの像	1980	116.7 × 91.0	紙本着色	第37回秋季新興美術院展／日本美術協会賞
11	黒きマリア	1980	145.5 × 112.0	紙本着色	第17回大分県美術展／大分県美術協会賞
12	サクレクール	1981	162.0 × 130.3	紙本着色	第31回新興美術院展／会員努力賞
13	悲しみのマリア	1982	162.0 × 130.3	紙本着色	第32回新興美術院展
14	国境線	1982	116.7 × 91.0	紙本着色	第39回秋季新興美術院展
15	Kenya II	1983	162.0 × 130.3	紙本着色	第19回大分県美術展
16	マリア観音(邪宗門)	1985	162.0 × 130.3	紙本着色	第35回記念新興美術院展
17	マリア観音	1985	116.7 × 91.0	紙本着色	第42回秋季新興美術院展
18	箱の鳥	1986	116.7 × 91.0	紙本着色	春季大分県美術展
19	黒い聖母	1987	162.0 × 260.6	紙本着色	第37回新興美術院展／会員努力賞・巢居人賞
20	聖像	1987	116.7 × 91.0	紙本着色	第44回秋季新興美術院展／日本美術協会賞
21	賛ロマネスク	1987	162.0 × 130.3	紙本着色	第23回大分県美術展
22	聖餐	1987	116.7 × 91.0	紙本着色	第2回翔展
23	城砦の街	1988	91.0 × 116.7	紙本着色	第3回翔展
24	サン・ミッシェル・デ・ギュー	1989	116.7 × 91.0	紙本着色	第46回秋季新興美術院展
25	飢	1989	116.7 × 91.0	紙本着色	第4回翔展
26	旧約の王達	1990	144.0 × 68.0	紙本着色	春季大分県美術展
27	シャルトル	1988	162.0 × 260.6	紙本着色	第38回新興美術院展
28	トマスの不信	1988	162.0 × 130.3	紙本着色	第24回大分県美術展
29	聖フランシスコの丘	1990	162.0 × 260.6	紙本着色	第40回記念新興美術院展

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
30	黒き聖母	1990	144.0 × 68.0	紙本着色	第26回大分県美術展
31	白い聖堂	1991	144.0 × 68.0	紙本着色	春季大分県美術展
32	アンゼルス	1991	144.0 × 68.0	紙本着色	第27回大分県美術展
33	砦の街	1992	116.7 × 91.0	紙本着色	春季大分県美術展
34	聖堂	1992	181.8 × 227.3	紙本着色	第42回新興美術院展
35	飛翔	1993	162.1 × 262.0	紙本着色	第43回新興美術院展/ 文部大臣奨励賞/大分 市美術館蔵
36	黒い聖像	1993	162.0 × 130.3	紙本着色	第29回大分県美術展
37	佇む	1994	130.3 × 162.0	紙本着色	第30回記念大分県美術 展/大分県知事賞
38	山気	1995	130.3 × 162.0	紙本着色	第31回大分県美術展
39	凜	1995	162.0 × 260.6	紙本着色	第45回記念新興美術院 展
40	ジャルー・ワーリー	1996	162.0 × 130.3	紙本着色	第32回大分県美術展
41	PASHUPATINATH	1997	162.0 × 260.6	紙本着色	第47回新興美術院展
42	家路 III	1998	72.7 × 60.6	紙本着色	第8回新興美術院大分支 部展
43	ペールの実 I	1997	162.0 × 130.3	紙本着色	第33回大分県美術展
44	ペールの実 IV	1998	91.0 × 116.7	紙本着色	春季大分県美術展
45	家路	1998	162.0 × 260.6	紙本着色	第48回新興美術院展
46	立つ	1998	130.3 × 130.3	紙本着色	第34回大分県美術展/ 大分県知事賞
47	乾季	1999	130.3 × 130.3	紙本着色	第35回記念大分県美術 展
48	BAZAL	2000	162.0 × 260.6	紙本着色	第50回記念新興美術院 展
49	ミテラ画の里	2001	162.0 × 260.6	紙本着色	第51回新興美術院展
50	AJANTA I	2000	130.3 × 130.3	紙本着色	第36回大分県美術展
51	魚売り	2000	91.0 × 72.7	紙本着色	第30回記念大分県日本 画展/田川賞
52	紅昏	2001	91.0 × 72.7	紙本着色	第25回志炎会展
53	MONSOON	2001	131.0 × 130.5	紙本着色	第37回大分県美術展/ 大分県知事賞・OG賞 /大分県立美術館蔵
54	木ノ葉の皿売り	2001	91.0 × 72.7	紙本着色	第31回大分県日本画展
55	霧を行く	2002	160.5 × 259.7	紙本着色	第52回新興美術院展/ 大分市美術館蔵
56	農婦	2003	116.7 × 91.0	紙本着色	春季大分県美術展
57	ポカラの男	2003	130.3 × 130.3	紙本着色	第39回大分県美術展
58	SAM砂丘	2003	162.0 × 260.6	紙本着色	第53回新興美術院展

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
59	ミテラ画の里	2004	162.0 × 260.6	紙本着色	第54回新興美術院展
60	生	2005	162.0 × 260.6	紙本着色	第55回記念新興美術院展
61	RAJASTHAN	2005	130.3 × 130.3	紙本着色	第41回大分県美術展
62	サングラ峠 III	2006	162.0 × 130.3	紙本着色	第56回新興美術院展
63	GANDHARA	2006	130.3 × 130.3	紙本着色	第42回大分県美術展
64	微笑	2007	162.0 × 130.3	紙本着色	第57回新興美術院展
65	プシュカール	2007	91.0 × 72.7	紙本着色	第37回大分県日本画展
66	プシュカールの朝 I	2008	162.0 × 130.3	紙本着色	第58回新興美術院展
67	PUSHKARの男	2009	162.0 × 130.3	紙本着色	第59回新興美術院展
68	柘榴	2009	91.0 × 116.7	紙本着色	第45回記念大分県美術展
69	マハラニ	2010	162.0 × 130.3	紙本着色	第60回記念新興美術院展
70	ガネーシャ	2010	116.7 × 91.0	紙本着色	第40回記念大分県日本画展
71	路上	2011	91.0 × 72.7	紙本着色	第41回大分県日本画展
72	プシュカールの朝 II	2011	162.0 × 130.3	紙本着色	第61回新興美術院展
73	ジャイプールの男	2012	116.7 × 91.0	紙本着色	春季大分県美術展
74	ウダイプールの踊子	2012	162.0 × 130.3	紙本着色	第62回新興美術院展
75	遺跡	2013	162.0 × 130.3	紙本着色	第63回新興美術院展
76	家路	2014	130.3 × 162.0	紙本着色	第64回新興美術院展
77	コナラクの鳥	2014	116.7 × 91.0	紙本着色	春季大分県美術展
78	山の民	2014	116.7 × 91.0	紙本着色	第50回記念大分県美術展
79	s l u m I	2015	116.7 × 91.0	紙本着色	第45回記念大分県日本画展
80	s l u m II	2015	116.7 × 91.0	紙本着色	第51回大分県美術展
81	ジャイサルメール城塞	2014	116.7 × 91.0	紙本着色	第44回大分県日本画展
82	A J A N T A II	2016	116.7 × 91.0	紙本着色	第52回大分県美術展
83	那爛陀遺跡	2016	72.7 × 91.0	紙本着色	第46回大分県日本画展

3. 1. 8. 郷土在住作家展Ⅹ 高木岩義展

概要 高木岩義（大分市在住）は、1939（昭和14）年、臼杵市生まれ。1962年、大分大学学芸学部を卒業後、公立中学校技術科教諭となる。その後、児玉成弘の勧めで油彩画の制作を始め、1973年、第28回行動美術協会展に《大威徳明王》を出品し、初入選。同年、秋月述生、安東隆美、児玉成弘、高木岩義、二宮秀夫、守末利宏、若林和子の7名で「行動大分作家協会」を設立。1980年、宇治山哲平らを中心に結成された「潮流の会」に参加、県洋画壇に新風を吹き込んだ。1994（平成6）年、第49回行動美術協会展に《午後の瞑想 94-2》を出品し、会友賞を受賞、同協会会員となる。

本展では、70年代の「くにさき」、80年前半の「帰依」、具象から抽象へと作風を転換した80年後半の「私はそれを知りたい」、90年代の「午後の瞑想」等シリーズより、厳選した代表作約80点及び関連資料を展示し、洋画家高木岩義の約45年にわたる画業の全貌を紹介した。

会期 平成29年2月2日（木）～2月19日（日） 公開日数17日間

主催 大分市美術館

後援 大分合同新聞社、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム

出品点数 洋画80点及び関連資料

観覧者数 1,960人

観覧料 一般500（400）円／高大生300（250）円、中学生以下無料
※（ ）内は20人以上の団体料金

関連行事 ■作家トーク（無料）
日時 平成29年2月11日 午後2時～3時
場所 美術館ハイビジョンホール
講師 高木岩義氏
参加者 131人

展示解説 ■美術館職員による展示解説（要観覧料）
日時 会期中毎週水曜日 午後2時～
場所 企画展示室
参加者 50人

印刷物 ポスターB2判、チラシA4判

関連記事 「45年の画業振り返る 高木岩義展が開幕」『大分合同新聞』2月2日
菅章「抽象画家の高木岩義回顧」『大分合同新聞』2月11日

（担当 大神）

高木岩義展目録

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	想	1975	162 × 130	油彩・キャンバス	第11回大分県美術展
2	くにさき-Ⅳ	1977	227 × 182	油彩・キャンバス	第32回行動美術協会展
3	いにしえのかたらい	1978	162 × 130	油彩・キャンバス	第33回行動美術協会展
4	地蔵の囁き (1)	1979	130 × 162	油彩・キャンバス	
5	地蔵の囁き (2)	1979	162 × 130	油彩・キャンバス	
6	野仏の春	1979	227 × 182	油彩・キャンバス	第6回行動大分作家展
7	くにさきへの道	1979	227 × 182	油彩・キャンバス	第34回行動美術協会展
8	念	1980	194 × 130	油彩・キャンバス	第35回行動美術協会展
9	くにさき Ⅳ	1981	182 × 227	油彩・キャンバス	第36回行動美術協会展
10	くにさき 2	1981	182 × 227	油彩・キャンバス	
11	くにさき 3	1981	182 × 227	油彩・キャンバス	
12	帰依 Ⅲ	1982	182 × 227	油彩・キャンバス	第9回行動大分作家展
13	帰依 Ⅳ	1982	182 × 227	油彩・キャンバス	第9回行動大分作家展
14	朝の行	1982	130 × 194	油彩・キャンバス	第18回大分県美術展 (大分県美術協会賞)
15	帰依 Ⅴ	1982	182 × 227	油彩・キャンバス	第37回行動美術協会展
16	帰依 Ⅰ	1983	182 × 227	油彩・キャンバス	第10回記念行動大分作家展
17	帰依 Ⅱ	1983	182 × 227	油彩・キャンバス	第38回行動美術協会展
18	業 (3)	1984	182 × 227	油彩・キャンバス	第39回行動美術協会展
19	行 (Ⅱ)	1985	182 × 227	油彩・キャンバス	第40回記念行動美術協会展 (会友推挙)
20	行 (Ⅲ)	1985	182 × 227	油彩・キャンバス	
21	托鉢 (A)	1985	162 × 130	油彩・キャンバス	北九州展
22	托鉢 (B)	1985	162 × 130	油彩・キャンバス	北九州展
23	私はそれを知りたい	1986	182 × 227	油彩、デカルコマ ニー・キャンバス	第41回行動美術協会展
24	迷	1986	162 × 130	油彩、デカルコマ ニー・キャンバス	'86春季大分県美術展
25	私はそれを知りたい 86-1	1986	162 × 130	油彩、デカルコマ ニー・キャンバス	第22回大分県美術展 (大分県美術協会賞)
26	私はそれを知りたい (Ⅱ)	1987	182 × 227	油彩、デカルコマ ニー・キャンバス	第42回行動美術協会展
27	ある夏の風景 87- 10	1987	162 × 130	油彩、デカルコマ ニー・キャンバス	第23回大分県美術展
28	思-88	1988	182 × 227	油彩、デカルコマ ニー・キャンバス	第43回行動美術協会展
29	午後の瞑想 (1)	1989	182 × 227	油彩、デカルコマ ニー・キャンバス	第44回行動美術協会展

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
30	午後の瞑想 (2)	1989	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	
31	思 1	1989	130 × 162	油彩、デカルコマニー・キャンバス	行動美術協会展 (新人選抜展)
32	思 2	1989	130 × 162	油彩、デカルコマニー・キャンバス	行動美術協会展 (新人選抜展)
33	思 88-6	1988	145 × 145	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第24回大分県美術展
34	夏の思い出-S	1989	162 × 162	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第25回大分県美術展 (大分県美術協会賞)
35	午後の瞑想 90-1	1990	227 × 182	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第45回行動美術協会展
36	午後の瞑想	1990	227 × 182	油彩、デカルコマニー・キャンバス	個展 (ワシントンホテル)
37	午後の瞑想 90-2	1990	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	
38	午後の瞑想 90-7	1990	162 × 162	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第26回大分県美術展
39	私はそれを知りたい	1990	162 × 130	油彩、デカルコマニー・キャンバス	
40	午後の瞑想-想7	1992	162 × 162	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第28回大分県美術展
41	午後の瞑想 91-7	1991	145 × 112	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第27回大分県美術展 (大分県美術協会賞)
42	午後の瞑想-宙から	1991	194 × 130	油彩、デカルコマニー・キャンバス	
43	午後の瞑想-流	1992	194 × 194	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第47回行動美術協会展
44	午後の瞑想 94-2	1994	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第49回行動美術協会展 (会友賞/会員推挙)
45	午後の瞑想 作品A	1995年	135 × 90	油彩、デカルコマニー・紙、板	
46	午後の瞑想 作品C	1995年	83 × 133	油彩、デカルコマニー・キャンバス	
47	午後の瞑想 95-7	1995	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第50回記念行動美術協会展
48	午後の瞑想-予感	1995	145 × 145	油彩、デカルコマニー・キャンバス	'95春季大分県美術展
49	午後の瞑想 作品E	1995	92 × 118	油彩、デカルコマニー・キャンバス	
50	午後の瞑想 96-鳳	1996	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第51回行動美術協会展
51	午後の瞑想 96-景	1996	145 × 145	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第32回大分県美術展
52	午後の瞑想	1997	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第24回行動大分作家展
53	午後の瞑想-10	1997	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第24回行動大分作家展
54	午後の瞑想 98-7	1998	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第53回行動美術協会展
55	午後の瞑想 (天景)	1999	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第54回行動美術協会展
56	午後の瞑想-天景	1999	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	
57	午後の瞑想-天景-2	2000	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第27回行動大分作家展
58	午後の瞑想 (20-天景)	2000	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第55回行動美術協会展
59	午後の瞑想 (トンコー)-01	2001	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第56回行動美術協会展

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
60	午後の瞑想－白昼夢	2002	227 × 182	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第57回行動美術協会展
61	午後の瞑想－○△□	2003	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第58回行動美術協会展
62	午後の瞑想－04－□ ○△	2004	227 × 182	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第59回行動美術協会展
63	午後の瞑想－金星接近	2004	130 × 130	油彩、デカルコマニー・紙、板	第40回記念大分県美術展（大分県美術協会賞）
64	午後の瞑想－イオ	2005	130 × 130	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第41回大分県美術展（大分県美術協会賞）
65	午後の瞑想－M81－06	2006	227 × 182	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第61回行動美術協会展
66	午後の瞑想 M81－06－5	2006	130 × 130	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第42回大分県美術展
67	午後の瞑想 07－3	2007	227 × 182	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第62回行動美術協会展
68	午後の瞑想－内と外	2008	227 × 182	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第63回行動美術協会展
69	午後の瞑想－ふしぎな宙	2008	116 × 116	油彩、デカルコマニー・キャンバス	'08春季大分県美術展
70	午後の瞑想 09－天景	2009	227 × 182	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第64回行動美術協会展
71	午後の瞑想－09－対話	2009	116 × 116	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第45回記念大分県美術展
72	午後の瞑想－宇宙からの風	2010	116 × 116	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第46回大分県美術展
73	午後の瞑想－祈り－11－2	2011	116 × 116	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第47回大分県美術展
74	午後の瞑想 10－アイ	2010	182 × 227	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第65回行動美術協会展
75	午後の瞑想 11－祈り	2011	194 × 162	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第66回行動美術協会展
76	午後の瞑想－5－21－金環	2012	194 × 194	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第67回行動美術協会展
77	午後の瞑想－Dream	2013	162 × 194	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第68回行動美術協会展
78	午後の瞑想－夢	2013	116 × 116	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第49回大分県美術展
79	午後の瞑想－14－5	2014	194 × 162	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第69回行動美術協会展
80	午後の瞑想－2	2014	116 × 116	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第50回記念大分県美術展
81	午後の瞑想－風神・雷神	2015	162 × 194	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第70回記念行動美術協会展
82	午後の瞑想－風神・雷神 2	2016	162 × 194	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第71回行動美術協会展
83	午後の瞑想－風神・雷神 3	2016	116 × 116	油彩、デカルコマニー・キャンバス	第52回大分県美術展

3. 1. 9. 第51回大分市美術展[公募展]

概 要 洋画・版画／日本画／書／写真／彫刻／工芸／デザインにわたる7部門の応募作品を、企画展示室、ホワイエ、常設展示室等で展示し、広く市民に紹介した。

会 期 平成29年3月3日（金）～3月26日（日） 公開日数22日

主 催 大分市、大分市教育委員会、大分市美術展運営委員会

後 援 大分県美術協会、アート・ブラザー、国際ソロプチミスト大分、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム

出品点数 420点

観覧者数 4,476人

観覧料 無料

関連行事 ■作品解説

日 時 3月5日（日）

午後1時～2時 （書、写真、デザイン部門）

午後2時～3時 （洋画・版画、日本画、彫刻、工芸部門）

場 所 各部門展示会場

講 師 大分市美術展運営委員

参加者 145人

関連記事 「多彩・圧巻の420点 大分市美術展始まる」『大分合同新聞』夕刊3月3日
「(ひと)『自分の表現』伸び伸びと」『大分合同新聞』3月15日
「(ひと)躍動感と空間構成を意識」『大分合同新聞』3月18日
(担当 岩尾)

3. 2 常設展

3. 2. 1 第1期常設展 平成28年4月12日(火)～7月10日(日)

(常設展示室2 前期：5月29日まで 後期：5月31日から)

■常設展示室1 近・現代の日本画

テーマ展示 黒色の魅力

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	高山辰雄	フィレンツェへ出る	1978頃	178.0×32.0	紙本墨画	
2	釘宮對宕	裸婦	1975	101.0×70.0	絹本墨画淡彩	
3	釘宮對宕	嵐山	1975頃	70.0×84.0	紙本墨画淡彩	
4	釘宮對宕	大和路帰耕	1975頃	70.0×84.0	紙本墨画淡彩	
5	釘宮對宕	山城風光	1975頃	70.0×84.0	紙本墨画淡彩	
6	釘宮對宕	雲水図	制作年不詳	74.0×47.0	紙本墨画	後藤修氏寄贈
7	釘宮對宕	杉林と塔	1983	45.0×53.0	紙本墨画	
8	釘宮對宕	法隆寺	1984	83.0×62.0	紙本墨画	
9	釘宮對宕	流水自帰	1977	168.0×62.0	紙本墨画	
10	高山辰雄	聖家族 I	1976	14.7×18.0	エッチング	
11	高山辰雄	聖家族 II	1976	32.6×23.5	エッチング	
12	高山辰雄	聖家族 III	1976	36.0×29.0	エッチング	
13	高山辰雄	聖家族 IV	1976	36.0×29.5	エッチング	
14	高山辰雄	聖家族 V	1976	36.3×29.3	エッチング	
15	高山辰雄	聖家族 VI	1976	35.3×28.8	エッチング	
16	高山辰雄	聖家族 VII	1976	32.1×23.3	エッチング	
17	高山辰雄	聖家族 VIII	1976	36.3×29.8	エッチング	
18	高山辰雄	聖家族 IX	1976	32.7×23.8	エッチング	
19	高山辰雄	聖家族 X	1976	25.8×34.2	エッチング	
20	高山辰雄	聖家族 X I	1976	28.8×35.8	エッチング	
21	高山辰雄	聖家族 X II	1976	23.8×32.8	エッチング	
22	高山辰雄	聖家族 X III	1976	29.7×36.4	エッチング	
23	高山辰雄	聖家族 X IV	1976	23.3×32.3	エッチング	
24	高山辰雄	聖家族 X V	1976	23.8×32.5	エッチング	
25	高山辰雄	聖家族 X VI	1976	26.3×34.5	エッチング	
26	斎藤隆	釈迦十大弟子 舍利弗像	1982-83	180.0×83.0	紙・鉛筆	
27	斎藤隆	釈迦十大弟子 阿那律像	1982-83	180.0×83.1	紙・鉛筆	
28	斎藤隆	釈迦十大弟子 摩訶迦旃延像	1982-83	180.0×83.2	紙・鉛筆	

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
29	斎藤隆	釈迦十大弟子 優婆離像	1982-83	180.0×83.3	紙・鉛筆	
30	斎藤隆	釈迦十大弟子 阿難像	1982-83	180.0×83.4	紙・鉛筆	
31	斎藤隆	釈迦十大弟子 目連像	1982-83	180.0×83.5	紙・鉛筆	
32	斎藤隆	釈迦十大弟子 迦葉像	1982-83	180.0×83.6	紙・鉛筆	
33	斎藤隆	釈迦十大弟子 須菩提像	1982-83	180.0×83.7	紙・鉛筆	
34	斎藤隆	釈迦十大弟子 富楼那像	1982-83	180.0×83.8	紙・鉛筆	
35	斎藤隆	釈迦十大弟子 羅睺羅像	1982-83	180.0×83.9	紙・鉛筆	
36	正井和行	雨後	1997	210.0×140.0	紙本着色	
37	畠中光享	林住禅定	2003	171.5×464.0	絹本墨画、裏箔	
38	千住博	ウォーターフォール	1996	194.2×130.4	紙本着色	
39	箱崎睦昌	瀧	1999頃	168.0×191.0	紙本着色	山口公男氏寄贈
40	箱崎睦昌	老松	1992	210.0×540.0	紙本着色	
41	箱崎睦昌	渦潮	1999頃	182.0×388.0	紙本着色	
42	高山辰雄	豊後里道に月を見る	2005	153.8×100.0	紙本金砂子墨画	
43	高山辰雄	雲煙に飛翔	2001	174.2×727.2	紙本金砂子墨画	
44	下保昭	知床染雨	1997	各168.0×372.0	紙本着色	
45	下保昭	白夜	1964	150.0×186.0	紙本着色	
46	小泉淳作	早春の積丹半島	1986	127.0×97.0	紙本着色	
47	南聡	ホルト草花図	2012	81.0×180.0	紙本着色	
48	高山辰雄	玄乃玄 1	2006	55.5×37.0	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈
49	高山辰雄	玄乃玄 2	2006	55.5×37.0	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈
50	高山辰雄	玄乃玄 3	2006	55.5×37.0	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈
51	高山辰雄	玄乃玄 4	2006	55.5×37.0	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈
52	高山辰雄	雨	2003	200.0×140.0	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
53	高山辰雄	玄乃玄 5	2006	55.5×37.0	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈
54	高山辰雄	玄乃玄 6	2006	55.5×37.0	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈
55	高山辰雄	玄乃玄 7	2006	55.5×37.0	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈
56	高山辰雄	玄乃玄 8	2006	55.5×37.0	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈
57	高山辰雄	玄乃玄 9	2006	55.5×37.0	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈
58	高山辰雄	玄乃玄 10	2006	55.5×37.0	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈
59	高山辰雄	玄乃玄 11	2006	37.0×55.5	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈
60	高山辰雄	玄乃玄 12	2006	37.0×55.5	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈
61	高山辰雄	玄乃玄 13	2006	37.0×55.5	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
62	高山辰雄	玄乃玄 14	2006	37.0×55.5	リトグラフ	浅木正勝氏寄贈

■常設展示室 2 近世の絵画・南画(文人画) 富春館記念室

テーマ展示 平野五岳

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	平野五岳	静湖柳村図	1843	131.4×36.4	絹本墨画淡彩	
2	平野五岳	松溪遊鶴図	1844	140.0×51.5	紙本墨画淡彩	
3	平野五岳	青山緑樹図	1850	144.7×49.4	絹本墨画淡彩	
4	平野五岳	春山溪閣図	1856	114.1×36.0	絹本墨画淡彩	
5	平野五岳	秋溪幽居図	1857	131.5×52.5	絹本墨画淡彩	
6	平野五岳	春山書屋図	1863	174.7×60.8	紙本墨画	
7	平野五岳	青山白雲図	1870	172.8×66.4	絹本墨画淡彩	
8	平野五岳	松蔭吟艇図	1870	150.0×50.7	絹本墨画	
9	平野五岳	柳陰帰漁図	1871頃	147.0×51.5	絹本墨画淡彩	
10	平野五岳	松林山水図	1880	151.2×60.0	絹本墨画	
11	平野五岳	花卉人物図	1876	各129.1×34.0	絹本墨画淡彩	
12	平野五岳	雪景山水図	1883	138.3×52.7	絹本墨画	
13	平野五岳	雪仏図	1882頃	131.4×50.6	絹本墨画	
14	平野五岳	十六羅漢図	1884	134.5×40.0	紙本墨画淡彩	
15	平野五岳	翠巖飛泉図	1885	198.0×73.8	紙本墨画	
16	平野五岳	柳溪暮煙図	1889	157.0×51.5	絹本墨画淡彩	
17	平野五岳	老松図	1892	151.8×52.7	絹本墨画	

テーマ展示 絵画の中の物語

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	田能村竹田	漁樵問答図	1834	128.5×50.3	絹本淡彩	
2	田能村直入	羅浮仙女図	明治時代	114.5×36.8	絹本着色	
3	帆足杏雨・中澤雪城	秋聲賦及賦意図	1844・47	各136.0×43.0	絹本墨書・絹本墨画淡彩	
4	森寛斎	沈香亭図	江戸時代後期	109.0×42.0	絹本着色	帆足市太氏寄贈
5	歌川国芳他	扇面浮世絵貼交屏風	江戸時代中後期	147.5×310.8	紙本銀地着色	
6	作者不詳	源平合戦図屏風	江戸時代後期	各隻159.3×374.2	紙本着色	
7	作者不詳	源氏物語絵屏風	江戸時代後期	各隻100.8×271.0	紙本着色	
8	住吉廣行	勿来関・白河関図	江戸時代後期	各図115.0×49.1	絹本着色	

■常設展示室3 近・現代の洋画

テーマ展示 片多徳郎と権藤種男

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	備考
1	片多徳郎	キンカン	1912	72.9×53.2	油彩・キャンバス	
2	片多徳郎	能面の囃	1914	32.5×45.0	油彩・キャンバス	
3	片多徳郎	牡丹花三輪	1922	50.0×59.5	油彩・キャンバス	
4	片多徳郎	初夏	1923	72.8×60.6	油彩・キャンバス	
5	片多徳郎	歌者	1928	45.0×45.0	油彩・キャンバス	
6	片多徳郎	自画像	1928	33.0×23.5	油彩・板	
7	片多徳郎	河辺盛春	1932	33.2×45.4	油彩・キャンバス	
8	権藤種男	K氏像	1913頃	50.0×44.0	油彩・キャンバス	権藤美代氏寄贈
9	権藤種男	T氏像	1914頃	32.0×22.0	油彩・板	権藤美代氏寄贈
10	権藤種男	K氏像	1916頃	21.2×14.8	油彩・ボード	権藤美代氏寄贈
11	権藤種男	清九郎像	1925	46.0×38.0	油彩・キャンバス	首藤泰比古氏寄贈
12	権藤種男	女性像	1926-30頃	39.0×30.0	油彩・紙	橋本航介氏寄贈
13	権藤種男	男性像	1926-30頃	39.0×30.0	油彩・紙	橋本航介氏寄贈
14	権藤種男	百合	1927	44.0×51.0	油彩・キャンバス	首藤泰比古氏寄贈
15	権藤種男	鮎	1927頃	23.0×32.0	油彩・板	首藤泰比古氏寄贈
16	権藤種男	桜並木	1930	45.0×58.0	油彩・キャンバス	首藤泰比古氏寄贈
17	権藤種男	牡丹	1930	15.0×21.5	油彩・紙	首藤泰比古氏寄贈
18	権藤種男	K氏像	1930頃	24.0×14.0	油彩・板	権藤美代氏寄贈
19	権藤種男	裸婦	1931頃	33.5×45.5	油彩・キャンバス	長谷文子氏寄贈
20	権藤種男	谷川温泉	1932	31.0×22.0	油彩・キャンバス	権藤美代氏寄贈
21	権藤種男	別府風景	1933	45.5×60.0	油彩・キャンバス	
22	権藤種男	まどひ	1933	15.0×22.0	油彩・板	権藤美代氏寄贈
23	権藤種男	河畔之夕	1934	22.0×27.0	油彩・板	小玉弘美氏寄贈
24	権藤種男	府内城	1934	112.0×87.0	油彩・キャンバス	
25	権藤種男	収穫時	1934	88.0×113.0	油彩・キャンバス	
26	権藤種男	自画像	1935	32.0×23.0	油彩・板	権藤美代氏寄贈
27	権藤種男	風景	1938	23.0×32.0	油彩・板	権藤美代氏寄贈
28	権藤種男	ハルピン松花江ニテ	1939	22.5×32.0	油彩・キャンバス	権藤美代氏寄贈
29	権藤種男	仁川ニテ	1939	23.0×32.0	油彩・板	権藤美代氏寄贈
30	権藤種男	由布岳遠望	1940	63.0×70.0	油彩・キャンバス	大分市立金池小学校蔵

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
31	権藤種男	軍艦	1940頃	15.0×21.0	油彩・板	権藤美代氏寄贈
32	権藤種男	武蔵野冬景色	1940頃	32.0×23.0	油彩・板	権藤美代氏寄贈
33	権藤種男	大瀬川	1940頃	32.0×23.0	油彩・板	権藤みな子氏寄贈
34	権藤種男	瓦礫の街	1945頃	28.5×37.5	油彩・キャンバス	宮本克子氏寄贈
35	権藤種男	庭	1949	70.0×89.0	油彩・キャンバス	権藤美代氏寄贈
36	権藤種男	遊鯉	1950頃	65.0×80.0	油彩・キャンバス	
37	権藤種男	高崎山遠望	1950	72.7×90.9	油彩・キャンバス	大分市立上野ヶ丘 中学校蔵
38	浜田九一郎	岩屋寺石仏	不詳	128.0×96.0	油彩・キャンバス	
39	武藤完一	釜峡	不詳	23.0×33.0	油彩・キャンバス	大分市立金池小学 校蔵
40	宮崎豊	赤い日輪 (伊豆伊奈)	1960	32.0×41.0	油彩・キャンバス	チャーチル会寄贈
41	田中昇	アカシア	1960	72.0×90.9	油彩・キャンバス	田中香氏寄贈

■常設展示室 4 竹工芸

テーマ展示 竹工芸—素材としての力

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法(縦×横× 奥行cm)	素材・技法	備考
1	生野祥雲斎	白竹通筒花入	1935頃	高50.0 径13.0	竹、籐	
2	生野祥雲斎	尺八切花入	1946頃	高31.4 径7.8	竹	
3	生野祥雲斎	白竹一重切華入 くいな笛	1953	高42.0 径7.3	竹	生野徳三氏寄贈
4	生野祥雲斎	白竹通筒華入	1955頃	高50.0 径12.6	竹、籐	
5	生野祥雲斎	白竹一重切花入 くいな笛	1960頃	高42.8 径7.0	竹	
6	生野祥雲斎	紫竹荒編華籠 久寿玉 I	1964	高43.0 径63.0	竹、籐	
7	生野祥雲斎	紫竹荒編華籠 久寿玉 II	1964	高43.0 径63.0	竹、籐	
8	幸松春浦	雨情	1954	136.0 × 123.5	紙本着色	
9		竹資料 (真竹・黒竹・四方竹・図面竹・布袋竹)				

3. 2. 2 第3期常設展 平成28年9月27日(火)～平成29年1月9日(月)
(常設展示室2 前期：11月13日まで 後期：11月15日から)

■常設展示室1、3 近・現代の洋画

テーマ展示 生誕110周年 佐藤敬展—新制作派協会出品作を中心に

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	佐藤敬	ベラスケス模写	1928	80.0×60.5	油彩・キャンバス	
2	佐藤敬	ドン・キホーテ	1931	44.5×37.0	油彩・キャンバス	
3	佐藤敬	窓際	1931	162.4×114.0	油彩他・キャンバス	大分県立美術館蔵
4	佐藤敬	婦人像	1931	80.7×64.5	油彩・キャンバス	大分県立美術館蔵
5	佐藤敬	Notre Dame du Paris	1932	54.0×64.0	油彩・キャンバス	
6	佐藤敬	ツリコ・ヴェールの子供	1930-34	64.8×50.2	油彩・キャンバス	岸井眞弓氏寄贈
7	佐藤敬	バレリーナ	1930-34	45.5×53.0	油彩・キャンバス	大分県立美術館蔵
8	佐藤敬	レ・クルン	1932	162.2×130.3	油彩・キャンバス	大分県立美術館蔵
9	山下鉄之輔	別府山景	不詳	39.0×51.0	油彩・キャンバス	木下敬之助氏寄贈
10	山下鉄之輔	人物	1930	80.5×60.5	油彩・キャンバス	大分県立美術館蔵
11	山下鉄之輔	高崎山	1948	22.0×31.0	油彩・キャンバス	
12	片多徳郎	自画像	1928	33.0×23.5	油彩・板	
13	片多徳郎	初夏	1923	72.8×60.6	油彩・キャンバス	
14	藤田嗣治	佐藤敬、美子	1944頃	18.5×21.5	紙本淡彩	
15	藤田嗣治	女と猫	不詳	30.8×40.0	エッチング・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
16	藤田嗣治	バラをもつ少女	不詳	23.1×17.2	エッチング・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
17	海老原喜之助	阿蘇	1962頃	60.7×72.8	油彩・キャンバス	
18	藤島武二	大洗海岸	1931	73.0×91.0	油彩・キャンバス	
19	藤島武二	蝶	1934頃	27.0×24.0	墨、水彩・紙	個人蔵
20	猪熊弦一郎	ねこ	不詳	27.0×24.0	墨・紙	個人蔵
21	本郷新	絵子	1940	高16.3×幅 13.0×奥行 10.0	ブロンズ	岸井眞弓氏寄贈
22	油野誠一	デソリヤの街	1953	181.8 ×259.1	油彩・キャンバス	油野誠一氏寄贈
23	佐藤敬	佐藤敬滞欧作品第1集	1935頃	28.5×45.3	インク、墨、淡彩・ 紙	大分県立美術館蔵 前期展示
24	佐藤敬	独唱会目次佐藤美子	1935頃	28.5×45.3	インク、墨、淡彩・ 紙	大分県立美術館蔵 後期展示
25	佐藤敬	制作	1936	197.0×265.0	油彩・キャンバス	
26	佐藤敬	独唱	1936	197.1×273.1	油彩・キャンバス	
27	佐藤敬	水の姿勢	1937	195.0×265.0	油彩・キャンバス	
28	佐藤敬	月	1938	194.0×130.0	油彩・キャンバス	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
29	佐藤敬	雪	1938	193.0×124.0	油彩・キャンバス	
30	佐藤敬	亜土	1937頃	20.0×15.0	油彩・キャンバス	
31	佐藤敬	ハルピン郊外	1937頃	40.0×52.0	油彩・キャンバス	大分県立美術館蔵
32	佐藤敬	人物	1939	72.0×60.0	油彩・キャンバス	大分県立美術館蔵
33	佐藤敬	少女半身	1940	72.7×53.1	油彩・キャンバス	岸井眞弓氏寄贈
34	佐藤敬	三人の家族	1940	145.5×112.1	油彩・キャンバス	
35	佐藤敬	美子と亜土 (母子)	1940頃	73.0×60.0	油彩・キャンバス	個人蔵
36	佐藤敬	《美子と亜土》 (素描)	1940頃	36.2×28.6	鉛筆・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
37	佐藤敬	《美子と亜土》 (素描)	1940頃	36.2×28.4	鉛筆・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
38	佐藤敬	安陸戦跡	1941	63.5×89.5	油彩・キャンバス	
39	佐藤敬	南京光華門	1941	61.0×73.0	油彩・キャンバス	
40	佐藤敬	中国風景	1941	26.5×42.5	パステル・紙	平田和穂氏寄贈
41	佐藤敬	中国の風景 (4)	1941	25.0×36.0	インク、パステル・紙	
42	佐藤敬	中国の風景 (3)	1941	24.5×34.5	インク、パステル・紙	
43	佐藤敬	漢口にて	1941	29.5×23.0	インク、パステル・紙	
44	佐藤敬	玄武湖にて	1941	27.0×42.5	インク、パステル・紙	
45	佐藤敬	玄武湖にて	1941頃	26.5×36.6	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
46	佐藤敬	玄武湖にて	1941頃	27.4×39.6	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
47	佐藤敬	玄武湖にて	1941頃	26.5×36.7	インク・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
48	佐藤敬	資材置き場	1941頃	26.5×36.6	インク、パステル、 淡彩・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
49	佐藤敬	寺院を望む	1941頃	26.5×36.7	インク、パステル、 淡彩・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
50	佐藤敬	中国の寺院	1941頃	26.0×36.6	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
51	佐藤敬	荷車のある風景	1941頃	26.5×36.5	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
52	佐藤敬	廃墟	1941頃	26.5×36.6	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
53	佐藤敬	城壁	1941頃	27.4×39.8	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
54	佐藤敬	城門	1941頃	24.3×28.4	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
55	佐藤敬	城隍廟	1941頃	26.5×36.7	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
56	佐藤敬	古中嶺第三陣地	1941頃	26.5×36.7	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
57	佐藤敬	或る陣地	1941頃	27.1×39.7	インク・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
58	佐藤敬	営舎	1941頃	26.5×36.6	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
59	佐藤敬	軍用機	1941頃	27.4×35.8	鉛筆、彩色・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
60	佐藤敬	歩哨	1941頃	26.8×36.5	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
61	佐藤敬	兵士	1941頃	36.5×26.6	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 前期展示

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
62	佐藤敬	兵士	1941頃	36.5×26.6	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
63	佐藤敬	コレヒドール	1942頃	28.2×38.5	インク、彩色・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
64	佐藤敬	コレヒドール米兵舎を望む	1942頃	28.2×38.7	インク、彩色・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
65	佐藤敬	Bonjour Manila	1942頃	22.8×30.4	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
66	佐藤敬	軍艦を眺める人々	1942頃	22.8×30.3	インク・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
67	佐藤敬	南の雲	1942頃	28.2×38.4	インク、彩色・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
68	佐藤敬	南の雲	1942頃	28.3×38.7	インク、彩色・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
69	佐藤敬	沈没船	1942頃	28.5×38.6	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
70	佐藤敬	残骸	1942頃	28.1×38.5	インク、彩色・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
71	佐藤敬	空の要塞日十七落ちる	1942頃	28.2×38.6	インク、彩色・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
72	佐藤敬	コレヒドールの道	1942頃	22.8×30.4	インク、彩色・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
73	佐藤敬	横たわる兵士	1942頃	27.5×35.8	鉛筆、彩色・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
74	佐藤敬	横たわる兵士	1942頃	20.9×29.8	鉛筆、墨・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
75	佐藤敬	横たわる兵士	1942頃	27.5×35.9	鉛筆・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
76	佐藤敬	兵士たち	1942頃	28.0×21.8	インク・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
77	佐藤敬	《水彩に就いて》(素描)	1939頃	36.5×27.3	鉛筆・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
78	佐藤敬	《水彩に就いて》(素描)	1939頃	36.5×27.6	鉛筆・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
79	佐藤敬	《水彩に就いて》(素描)	1939頃	36.5×27.6	鉛筆・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
80	佐藤敬	暁	1940	130.5×193.6	油彩・キャンバス	
81	佐藤敬	馬(素描)	1940頃	28.0×37.3	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
82	佐藤敬	馬(素描)	1940頃	28.0×37.3	鉛筆・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
83	佐藤敬	《暁》のデッサン	1940頃	28.0×37.3	鉛筆、インク・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
84	佐藤敬	馬(素描)	1940頃	28.0×37.3	鉛筆、インク・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
85	佐藤敬	《暁》下絵	1940頃	28.0×37.3	鉛筆・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
86	佐藤敬	印度少女	1943	72.5×53.2	油彩・キャンバス	岸井眞弓氏寄贈
87	佐藤敬	眞弓	1944	40.8×31.5	油彩・キャンバス	岸井眞弓氏寄贈
88	佐藤敬	亜土の像	1945頃	28.4×18.3	コンテ、紙	大分県立美術館蔵 前期展示
89	佐藤敬	女たち	1941頃	22.7×39.8	インク・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
90	佐藤敬	トーチカ	1942頃	28.0×43.6	インク、パステル・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
91	佐藤敬	雨期来る(マニラ)	1942頃	23.5×31.5	インク、彩色・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
92	佐藤敬	空中戦	1942頃	11.0×18.0	鉛筆、油彩・キャンバス	大分県立美術館蔵 前期展示
93	佐藤敬	椰子	1942頃	30.4×22.8	インク・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
94	佐藤敬	クラークフィールド攻撃	1942	53.0×44.0	油彩、キャンバス	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
95	佐藤敬	雨期来る (マニラ)	1942	31.0×41.0	油彩・キャンバス	
96	佐藤敬	青い山脈を探る	1949頃	28.5×19.7	インク、彩色・紙	大分県立美術館蔵 前期展示
97	佐藤敬	歸郷 大佛次郎	1949頃	21.3×14.2	インク・紙	大分県立美術館蔵 後期展示
98	佐藤敬	枯葉	1946	73.0×53.0	油彩・キャンバス	
99	佐藤敬	Ado in Beppu	1946	60.6×45.5	油彩・キャンバス	
100	佐藤敬	肖像A	1946	73.0×53.0	油彩・キャンバス	
101	佐藤敬	幕間	1947	73.0×53.0	油彩・キャンバス	
102	佐藤敬	裸婦	1947	65.0×90.0	油彩・キャンバス	
103	佐藤敬	セーヌの橋	1947頃	41.0×32.0	油彩・キャンバス	
104	佐藤敬	真弓	1947頃	40.0×31.0	油彩・キャンバス	
105	佐藤敬	真弓	1947頃	24.5×16.5	水彩、墨・紙	
106	佐藤敬	花輪	1948	70.0×52.0	油彩・キャンバス	
107	佐藤敬	裸婦 (A)	1948	64.8×90.8	油彩・キャンバス	岸井真弓氏寄贈
108	佐藤敬	美子	1950頃	22.0×22.0	インク、パステル・紙	
109	佐藤敬	挿絵原画	1950頃	12.0×17.0他	インク・紙他	挿絵6点イラスト カット10点
110	佐藤敬	LE DANS(原題:白と黒)	1950	218.2×290.9	油彩・キャンバス	
111	佐藤敬	浴場	1951	130.0×160.0	油彩・キャンバス	
112	佐藤敬	ピアノと子供	1951	130.0×162.0	油彩・キャンバス	
113	佐藤敬	裸婦	1952	73.0×91.0	油彩・キャンバス	
114	佐藤敬	巴里の裏町	1956	32.5×50.0	グワッシュ、パステル・紙	
115	佐藤敬	サンドニイ風景	1956	49.0×64.0	グワッシュ、パステル・紙	
116	佐藤敬	オテル・ド・ヴィル (巴里)	1956	32.0×41.0	グワッシュ、パステル・紙	
117	佐藤敬	パリ	1966	高1.5×径23.0	絵付け皿	北村亜子氏寄贈
118	佐藤敬	グワッシュ'62	1962	24.0×31.0	グワッシュ・紙	
119	佐藤敬	青のグワッシュ	1972	13.5×30.0	グワッシュ・紙	
120	佐藤敬	罨	1961	92.0×73.0	油彩・キャンバス	
121	佐藤敬	夜は漂う	1963	53.0×65.0	油彩・キャンバス	
122	佐藤敬	空間の歴史 (黒)	1965	162.3×130.2	油彩・キャンバス	
123	佐藤敬	Fleur de Pierre	1960	59.4×29.3	油彩・キャンバス	
124	佐藤敬	凝結波	1966	195.0×130.0	油彩・キャンバス	
125	佐藤敬	Gouache'73	1973	24.0×31.5	グワッシュ・紙	
126	佐藤敬	グワッシュ	1973	24.0×32.5	グワッシュ・紙	
127	佐藤敬	Gravure'74	1974	46.0×38.0	リトグラフ	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
128	佐藤敬	ノートルダム	1974	27.0×24.0	水彩、マジック	小野純生氏寄贈
129	佐藤敬	空間の通力	1973	116.0×179.0	油彩・キャンバス	
130	佐藤敬	朝	1975	60.0×73.0	油彩・キャンバス	
131	佐藤敬	赤のグワッシュ	1978	33.0×50.0	グワッシュ・紙	
132	佐藤敬	吉野村風景	1945頃	14.0×9.0	水彩、鉛筆・紙	個人蔵
133	佐藤敬	人物	1947頃	25.3×36.0	水彩・紙	個人蔵
134	佐藤敬	美子肖像	1948頃	72×52	油彩・キャンバス	個人蔵
135	佐藤敬	婦人像	1948頃	35.0×26.0	ペン・紙	個人蔵
136	佐藤敬	富貴寺	1950頃	18.0×18.0	ペン・紙	個人蔵
137	佐藤敬	女二人	1950頃	16.0×19.5	ペン・紙	個人蔵
138	佐藤敬	ささやき	1950頃	13.5×19.5	ペン・紙	個人蔵
139	佐藤敬	モデル	1950頃	19.5×13.5	ペン・紙	個人蔵
140	佐藤敬	ダンス	1950頃	12.5×19.5	ペン・紙	個人蔵
141	佐藤敬	少女	1950頃	10.2×15.0	ペン・紙	個人蔵
142	佐藤敬	ピアノを弾く女	1950頃	19.5×13.5	ペン・紙	個人蔵
143	佐藤敬	ベランダ (女性像)	1952頃	16.0×19.5	ペン、グワッシュ・紙	個人蔵
144	佐藤敬	ヨーロッパ風景	1952頃	27.5×39.5	水彩、墨・紙	個人蔵
145	佐藤敬	カフェにて	1952頃	16.5×19.5	水彩、ペン・紙	個人蔵
146	佐藤敬	グワッシュ (紫)	1961	8.5×6.0	グワッシュ・紙	個人蔵
147	佐藤敬	bome Aune1 65	1965	9.0×24.5	グワッシュ・紙	個人蔵
148	佐藤敬	賀正 1968	1968	8.5×11.0	グワッシュ・紙	個人蔵
149	佐藤敬	九州装飾古墳	1965頃	27.3×24.2	グワッシュ・紙	個人蔵
150	佐藤敬	九州装飾古墳から	1965頃	27.0×24.0	グワッシュ・紙	個人蔵
151	佐藤敬	日の丸	1975	11.0×8.0	グワッシュ・紙	個人蔵
152	佐藤敬	パリより	1969	22.0×15.0	エッチング、アクアチント・紙	個人蔵
153	佐藤敬	家	1970	28.0×36.0	グワッシュ・紙	個人蔵
154	佐藤敬	オレンジ 繭	1974	8.0×11.0	グワッシュ・紙	個人蔵
155	佐藤敬	古墳	1978	7.0×11.0	グワッシュ・紙	個人蔵
156	佐藤敬	墨彩	1978	49.0×32.0	グワッシュ、墨・紙	
157	佐藤敬	墨彩	1978	24.0×33.0	グワッシュ、墨・紙	
158	佐藤敬	遥かなる時間	1978	51.0×33.0	グワッシュ、墨・和紙	
159	佐藤敬	遥かなる時間	1980	49.0×32.0	シルクスクリーン	岸井眞弓氏寄贈

■常設展示室2 近世の絵画・南画（文人画） 富春館記念室

テーマ展示 帆足杏雨—名品選

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備考
1	帆足杏雨	秋晴晩歩図	1832	50.0×41.4	紙本墨画淡彩	
2	帆足杏雨	京游詩画帖	1832-33	26.4×31.8	紙本墨画淡彩	
6	帆足杏雨	松下高談図	1833	24.6×18.2	紙本墨画淡彩	
2	田能村竹田	曲溪複嶺図及題詩	1832	各172.0×31.5	紙本淡彩 紙本墨書	
4	帆足杏雨	巴峽蜀松図	1837頃	143.1×51.7	紙本墨画淡彩	
7	帆足杏雨	松陰自適図	1837頃	143.3×52.0	紙本墨画淡彩	
8	帆足杏雨	浅絳山水図	1835	123.0×50.5	絹本墨画淡彩	
資料	帆足杏雨	中国画粉本集	1846他	27.0×19.0他	紙本墨画、紙本淡彩	寄託品
9	帆足杏雨	立葵図	1836	107.5.×52.5	紙本墨画着色	
10	帆足杏雨	設色花鳥図	1841	115.8×35.5	絹本墨画着色	
11	帆足杏雨	松下納涼図	1842	142.0×56.4	絹本墨画淡彩	
12	帆足杏雨	風雨渡航図	1845	147.8×40.5	紙本墨画淡彩	
13	帆足杏雨	老圃秋容図	1848	154.8×57.2	絹本墨画着色	
14	帆足杏雨	南山松柏図	1851	130.2×50.4	絹本墨画淡彩	
15	帆足杏雨	梅花山茶花群雀図	江戸時代後期	147.2×57.1	紙本墨画淡彩	
16	帆足杏雨	前後赤壁図	1862	各136.8×32.2	絹本墨画淡彩	
17	帆足杏雨	峻嶺飛泉図・霜林晚靄図	1865	各173.0×52.0	絹本墨画淡彩・絹本墨画	
18	帆足杏雨	溪山煙雨図	1869	142.4×67.0	絹本墨画	
19	帆足杏雨 平野五岳 千原夕田	山水図	1875	18.1×12.5他	紙本箔押墨画	
資料	帆足杏雨	囑画録	1874、1878		紙本墨書	寄託品
資料	帆足杏雨	日記	1883	35.0×16.5	紙本墨書	寄託品

テーマ展示 江戸時代の旅と絵画

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備考
1	歌川広重	東海道五拾三次之内 荒井	1833-34	24.0×36.5	紙・木版画	
2	歌川広重	六十余州名所図会 豊前羅漢寺下道	1854	37.0×25.0	紙・木版画	
3	歌川豊国（二代）	名勝八景 鎌倉晩鐘 鶴ヶ岡より房州山の図	1818-1830	各37.0×25.0	紙・木版画（二枚組）	
4	溪斎英泉	江戸八景 忍岡の暮雪	1843-1847頃	26.0×38.0	紙・木版画	
5	歌川広重（三代）	東都名所 日本ばし雪晴之図	1868-94	25.0×37.0	紙・木版画	
6	歌川国芳	夜参り八景 一ツ目	1844-1848頃	36.0×24.0	紙・木版画	
7	歌川国芳	木曾街道六十九次之内 関ヶ原	1844-1848頃	37.0×25.0	紙・木版画	
8	歌川国芳	二見ヶ浦の光景	1854	各37.0×25.0	紙・木版画（三枚組）	

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
9	土佐光芳	宇治美景図屏風	江戸時代中期	172.8×383.8	紙本着色	帆足市太氏寄贈
10	作者不詳	洛中洛外図屏風	1640頃	各108.5×273.0	紙本金地着色	
11	田能村竹田	伏水望京図	1823	107.2×26.4	紙本墨画淡彩	
12	田能村竹田	富士図	1819	127.0×42.0	絹本着色	重要文化財
13	田能村竹田	西行法師図	1832頃	91.6×24.3	紙本墨画	
14	田能村竹田	豊北瀬海名勝図	1832	104.5×33.6	絹本墨画淡彩	
15	帆足杏雨	京游詩画帖	1832-33	26.4×31.8	紙本墨画淡彩	
16	帆足杏雨	雪溪吟鞭図	1837頃	143.0×51.7	紙本墨画淡彩	

■展示室 4 竹工芸

テーマ展示 竹工芸—線の造形美

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	生野祥雲齋	波紋	1961	77.9×138.8× 7.5	竹、ガラス繊維、 木	
2	生野祥雲齋	白竹水月吊華籃	1961頃	高21 42.0×15.0	竹	
3	生野祥雲齋	川	1962	高42.0 径32.0	竹、籐	
4	生野祥雲齋	怒涛	1960	高53.0×73.0	竹、籐	
5	生野祥雲齋	秋苑	1946	高32.0 径34.0	竹、籐	
6	生野祥雲齋	輪花永芳盛籃	1944	高14.0 径39.0	竹、籐	

3. 2. 3 第4期常設展 平成29年1月11日(水)～4月9日(日)
 (常設展示室2 前期:2月19日まで 後期:2月21日から)

■常設展示室1 近・現代の日本画

テーマ展示 風景画の魅力 岩澤重夫・箱崎睦昌を中心に

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	岩澤重夫	樹	1960-63	45.0×61.0	紙本着色	チャーチル会大分寄贈
2	岩澤重夫	錦秋洛北	1964-67	36.0×43.0	紙本着色	チャーチル会大分寄贈
3	岩澤重夫	山麓	制作年不詳	46.0×50.0	絹本着色	藤原文子氏寄贈
4	岩澤重夫	晨暉(九重飯田高原)	1961	210.0×150.0	紙本着色	第4回新日展(特選・白寿賞)
5	岩澤重夫	郷	1987	191.0×180.0	紙本着色	第19回改組日展
6	南聡	大潮	1996	180.0×360.0	紙本着色	
7	高山辰雄	立春	1937	42.8×56.8	絹本着色	第2回瑠爽画社展 高山辰雄氏寄贈
8	高山辰雄	道	1961	45.5×60.6	紙本着色	
9	高山辰雄	夜明け	1965	41.0×53.0	紙本着色	第5回銀二会展
10	高山辰雄	燈	1985	211.5×139.5	紙本着色	日月星辰-高山辰雄展1985
11	高山辰雄	新雪	1992	224.0×160.0	紙本着色	第24回改組日展 高山辰雄氏寄贈
12	南聡	雨上がり	2006	182.0×227.5	紙本着色	
13	岩澤重夫	響	1988	191.0×168.0	紙本着色	第20回改組日展
14	岩澤重夫	輝やく峰	1998	220.0×145.0	紙本着色	第30回改組日展
15	岩澤重夫	清秋	1999	200.0×175.0	紙本着色	第31回改組日展
16	岩澤重夫	由布岳	制作年不詳	65.0×91.0	紙本着色	
17	岩澤重夫	潮高々	1968-69	26.6×40.2	紙本着色	
18	岩澤重夫	ひととき	制作年不詳	33.6×53.2	紙本着色	
19	千住博	駅「街シリーズ」	1984	194.0×222.4	紙本着色	千住博氏寄贈
20	箱崎睦昌	情景・ブランコ	1982	各図112.0×193.9	紙本着色	
21	朝倉美彌子	燈光	2002	175.0×210.0	紙本着色	再興第86回院展 朝倉美彌子氏寄贈
22	福田平八郎	羅漢寺	1916頃	134.0×54.0	紙本着色	
23	郷倉和子	縹渺	1992	140.0×360.0	紙本着色	
24	釘宮對宕	法隆寺	1984	83.0×62.0	紙本墨画	
25	八田哲	黒き城(熊本城)	1990	75.1×91.0	紙本着色	
26	八田哲	中津城	1993	60.6×80.3	紙本着色	
27	箱崎睦昌	桜島	1988	210.0×560.0	紙本着色	第5回横の会展
28	箱崎睦昌	潮声	1991	180.0×540.0	紙本着色	第8回横の会展

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
29	箱崎睦昌	渦潮	1999	182.0×388.0	紙本着色	
30	林潤一	懸泉白水	1993	168.0×185.0	紙本着色	第10回横の会展
31	平松礼二	路・三月の雨	1993	175.0×364.0	紙本着色	
32	村田茂樹	樹間	1993	165.0×504.0	紙本着色	
33	中路融人	爽晨	1984	145.6×210.3	紙本着色	
34	田淵俊夫	大地Ⅱ	1994	180.0×180.0	紙本着色	再興第79回院展 (内閣総理大臣賞)
35	林功	江南光風	1991	各隻166.8× 184.0	絹本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・南画(文人画) 富春館記念室

テーマ展示 酉年の祝い

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	白須心華	閻家全慶図	1929	140.8×41.2	絹本着色	
2	首藤雨郊	鶏	1912-43	120.4×33.8	絹本着色	
3	田能村竹田	白鶴図	1822	各図164.3×41.5	絹本着色	
4	小栗布岳	花鳥図	1897	179.6×71.7	紙本着色	帆足市太氏寄贈
5	森 嶮谷	桜花群雀図	19世紀前半	117.5×36.5	紙本墨画淡彩	
6	狩野永伯	松竹梅に鶴図屏風	江戸時代後期	各隻171.5× 379.4	紙本金地着色	帆足市太氏寄贈
7	作者不詳	鷹図屏風	江戸時代中期	156.8×421.1	紙本着色	帆足市太氏寄贈
8	心山	翡翠荷花図	制作年不詳	128.2×30.3	紙本着色	
9	余崧	花鳥図	19世紀前半	132.7×47.8	絹本着色	帆足市太氏寄贈
10	松村景文	双鳩図	江戸時代後期	112.4×56.2	紙本着色	帆足市太氏寄贈
11	淵上旭江	叭々鳥図	1777	88.5×29.5	絹本墨画淡彩	
12	淵野香齋	花鳥図	江戸時代後期	101.7×29.0	紙本墨画淡彩	
13	狩野常信	梧桐鳳凰図	江戸時代前期	107.0×40.6	絹本着色	帆足市太氏寄贈

■常設展示室3 近・現代の洋画、現代美術

テーマ展示 60年代の若き大分の作家たち—吉村益信、赤瀬川原平、風倉匠を中心に

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	小林正徳	銀座画廊前の作家たち	1960	45.0×61.0	Kプリント	
2	小林正徳	銀座画廊の作家たち	1960	46.0×50.0	Kプリント	
3	小林正徳	銀座を歩く作家たち	1960	36.0×43.0	Kプリント	
4	石松健男	訪問者 磯崎新 ホワイトハウス	1960	57.0×38.0	ゼラチンシルバー プリント	
5	石松健男	銀座の吉村益信と進駐軍	1960	38.0×57.0	ゼラチンシルバー プリント	

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	技法・素材	備考
6	石松健男	銀座の吉村益信と赤瀬川原平	1960	57.0×38.0	ゼラチンシルバープリント	
7	石松健男	吉村益信とその作品	1960	57.0×38.0	ゼラチンシルバープリント	
8	WILIAM KLEIN	トロンボーンを吹く吉村益信	1961	29.9×45.6	ゼラチンシルバープリント	
9	安斎重男	豚；ピッグ・リップを設置する吉村益信	1971	27.9×35.6	ゼラチンシルバープリント	
10	石松健男	VOIDISM	1962	58.6×50.7	ゼラチンシルバープリント	
11	WILIAM KLEIN	アトリエの吉村夫妻	1961	29.9×45.6	ゼラチンシルバープリント	
12	吉村益信	殺打駄氏の塔<幽閉されたハレム>	1961	123.0×91.0	石膏・板	磯崎新氏寄贈
13	吉村益信	タワー・オブ・サダダ	1961	19.5×91.0	石膏・板	廣瀬幸平氏寄贈
14	吉村益信	VOID	1962	60.9×60.9	石膏・板	
15	吉村益信	クイーン・セミラミス	1966	260.0×326.0	油性アクリル、蛍光塗料	
16	吉村益信	ネオン雲プラン1	1967	145.5×227.5	蛍光塗料、ペイント	
17	吉村益信	脇皺(群盲撫象より)	1972	90.0×70.0	パステル・紙	
18	石松健男	赤瀬川原平	1960	57.0×38.0	ゼラチンシルバープリント	
19	石松健男	ホワイトハウスの展示風景	1960	26.6×40.2	ゼラチンシルバープリント	
20	赤瀬川原平	模型千円札Ⅲ	1963	29.5×19.5	オフセット・紙	赤瀬川尚子氏寄贈
21	赤瀬川原平	大日本零円札	1963	14.4×30.8	オフセット・紙	赤瀬川尚子氏寄贈
22	ハイレッド・センター	特報！通信衛星は何者に使われているか！	1964	17.4×25.4	オフセット・紙	赤瀬川尚子氏寄贈
23	千円札事件懇談会	千円札裁判へ プツ法廷・行為	1966	29.5×41.8	印刷物	赤瀬川尚子氏寄贈
24	千円札事件懇談会	東京地方裁判所刑事701法廷(第1回公判の経過絵図)	1966	43.6×30.4	印刷物	赤瀬川尚子氏寄贈
25	千円札事件懇談会	千円札裁判押収品目録(修正版)	1966	59.0×43.3	印刷物	赤瀬川尚子氏寄贈
26	赤瀬川原平	パルサー	1979	23.4×33.8	リトグラフ・紙	首藤政美氏寄贈
27	赤瀬川原平	米とアルミ	1985	41.4×61.0	オフセット・紙	首藤政美氏寄贈
28	安斎重男	風倉匠	1972	27.9×35.6	ゼラチンシルバープリント	
29	風倉匠	窓を結ぶ	1964	130.0×97.0	油彩・キャンバス	
30	風倉匠	夜もまた始まる	1964	91.0×73.5	油彩・キャンバス	
31	風倉匠	ON and OFF	1966頃	71.0×88.0	油彩・キャンバス	風倉匠氏寄贈
32	風倉匠	破滅の浄化作用	1973	162.1×130.3	油彩・アクリル・鉛筆、弓、曲面鏡、キャンバス	
33	風倉匠	アウグスチヌスの時間	1969	193.9×97.0	油彩・キャンバス	

■常設展示室4 工芸

テーマ展示 景色を想う

No.	作者	作品名	制作年	寸法(縦×横× 奥行cm)	素材・技法	備考
1	河合誓徳	草影	1995	22.0×42.0× 32.0	磁器	河合徳夫氏寄贈
2	河合誓徳	杉木立	2004頃	5.5×64.8× 34.4	磁器	河合徳夫氏寄贈
3	河合誓徳	望	1993	26.0×35.0× 18.5	磁器	河合徳夫氏寄贈
4	河合誓徳	みかん畑	2003	20.0×61.0× 26.0	磁器	河合徳夫氏寄贈
5	河合誓徳	望	1997	31.2×44.0× 27.2	磁器	河合徳夫氏寄贈
6	生野徳三	白竹の籠 海宇	1998	高26.0×径 54.0	竹・籐	第30回日展特選

3. 3. サマー企画 アート・ワンダーランド2016

後援 アート・ワンダーランドは、子どもたちに、楽しく、興味を持って美術を鑑賞してもらうための展覧会で、本年は「わくわく美術館 美術館をてくてく歩いて、自分だけのわくわくを見つけよう！」をテーマに、常設展示会場を展示室ごとにテーマで分け、それぞれのテーマごとに問いかけや体験をしてもらい、子どもたちに作品を印象深く見てもらう工夫をした。展示室1では描かれているもの、展示室2では作品の大きさ、展示室3では色、展示室4では日常の中の美について触れってもらうようにした。

会期 平成28年7月12日(火)～9月25日(日) 公開日数 74日間

主催 大分市美術館

後援 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、OCT 大分ケーブルテレコム、エフエム大分、ゆふいんラヂオ局

出品点数 101点

観覧者数 65,946人

観覧料 一般 300(250)円/高大生 200(150)円、中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金

関連事業 ■夏休み鑑賞ツアー

日時 平成28年7月23日、26日、30日
8月2日、6日、9日、13日、16日、20日、23日、27日、30日
午後1時～3時
場所 常設展示室内
相談員 大分市美術館ボランティア「こもれ美」トークグループ

■紙芝居で知る大分の作家たち

日時 平成28年8月19日、25日、26日
午後3時～
場所 常設展 展望ロビー
相談員 大分市美術館ボランティア「こもれ美」ワークグループ
参加者 290人

印刷物 ワークシート A3 二つ折り
小学校低学年用 16,000部 小学校高学年用 16,000部 中学生用 17,000部
(担当 椎原)

サマー企画 アート・ワンダーランド2016 目録

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
1	池田龍雄	モク拾い	1953頃	37.5 × 26.7	ペン画・紙	
2	首藤詔子	秋日	1983	162.0 × 130.3	紙本着色	
3	郷倉和子	夕焼けとうさぎ	1980	185.0 × 216.0	紙本着色	
4	蔣昌忠	海老図	2001	55.0 × 55.0	紙本墨画淡彩	蔣昌忠氏寄贈
5	浜田知明	馬のトルソー	1961	25.3 × 36.5	エッチング	
6	朝倉摂	猫	制作年不詳	35.7 × 24.7	リトグラフ・紙	
7	権藤種男	鯉	1954	32.0 × 41.0	油彩・キャンバス	権藤美代氏寄贈
8	福田平八郎	鯉	1943頃	43.2 × 87.2	絹本着色	
9	高山辰雄	鯉	1944頃	43.1 × 55.5	絹本着色	
10	上村淳之	月の水辺	1990	146.0 × 227.0	紙本着色	
11	高山辰雄	緑の野に	1952	59.5 × 71.3	絹本着色	
12	紙谷義久	雨季 7月	1986	145.5 × 145.5	紙本着色	紙谷義久氏寄贈
13	福田平八郎	雉子	1938	134.0 × 42.2	絹本着色	
14	岩尾秀樹	山羊	1990	181.8 × 227.3	油彩・キャンバス	岩尾秀樹氏寄贈
15	吉村益信	CUT SEA	1973	72.8 × 100.0	油彩・キャンバス	
16	吉村益信	CUT SEA 3	1973-74	96.0 × 130.3	油彩・キャンバス	吉村益信氏寄贈
17	南聡	潮	1996	180.0 × 360.0	紙本着色	
18	吉村益信	CUT SEA 4	1974	97.2 × 162.0	油彩・キャンバス	
19	権藤種男	ばら	制作年不詳	24.0 × 33.0	油彩・板	
20	菅久	作品A(黒い花)	1953	60.6 × 45.5	油彩、コールドール・キャンバス	菅久氏寄贈
21	石踊達哉	林檎花	1994	130.3 × 162.1	紙本着色	(株)山雅寄贈
22	江藤純平	椿	1931	73.0 × 91.0	油彩・キャンバス	江藤クニ子氏寄贈
23	吉村益信	菜の花畑	1974	97.2 × 162.0	油彩・キャンバス	
24	仲町謙吉	仏	1985	162.1 × 130.3	油彩・キャンバス	仲町謙吉氏寄贈
25	平山郁夫	緑韻富貴寺	1997	169.2 × 361.6	紙本着色	
26	上田忠敏	府内城	制作年不詳	97.0 × 79.0	油彩・キャンバス	木下敬之助氏寄贈
27	早川正	府内城	1969	49.0 × 63.0	水彩・紙	
28	寺司勝次郎	「早春」府内城	1986	19.0 × 14.0	木版画・紙	木下敬之助氏寄贈
29	権藤種男	別府風景	1933	45.5 × 60.0	油彩・キャンバス	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
30	糸園和三郎	別府湾夕景	1990	53.0 × 45.0	油彩・キャンバス	
31	岩澤重夫	由布岳	制作年不詳	65.0 × 91.0	紙本着色	
32	福田平八郎	羅漢寺	1916頃	134.0 × 54.0	紙本彩色	
33	岩澤重夫	晨暉(九重飯田高原)	1961	210.0 × 150.0	紙本着色	
34	江藤純平	秋の由布岳	1980代	31.0 × 40.0	油彩・キャンバス	
35	西村駿一	ふるさと	1998	160.0 × 128.5	油彩・キャンバス	西村駿一氏寄贈
36	西村駿一	ふるさと'09	2009	160.5 × 129.5	油彩・キャンバス	西村駿一氏寄贈
37	西村駿一	ふるさと2010-1	2010	160.0 × 160.0	油彩・キャンバス	西村駿一氏寄贈
38	菅久	別府湾暮色	2007	159.0 × 224.5	油彩・キャンバス	菅久氏寄贈
39	廣瀬通秀	ねがい	2004	193.9 × 162.1	油彩・キャンバス	廣瀬通秀氏寄贈
40	渡辺宏	RAGARの訪問者	1971	194.0 × 162.0	油彩・キャンバス	
41	工藤和男	朝の港	1995	193.0 × 162.0	油彩・キャンバス	
42	佐藤哲	ニコラス20	2006	194.0 × 162.0	油彩・キャンバス	
43	菅玲子	新聞を読む	1965	130.3 × 193.9	油彩・キャンバス	菅玲子氏寄贈
44	釘宮對宕	日月易流	1983	95.0 × 33.0	紙本墨画	
45	松本眞砂雄	美人図	制作年不詳	127.5 × 36.2	絹本着色	
46	高倉観崖	児島高德図	1920代	133.4 × 49.5	絹本着色	
47	皆川千恵子	坐像	制作年不詳	120.0 × 83.5	紙本着色	溝部新二氏寄贈
48	江藤純平	陰山先生像	制作年不詳	116.7 × 91.0	油彩・キャンバス	江藤クニ子氏寄贈
49	中山忠彦	羽根かざりの帽子	1988頃	45.6 × 38.0	油彩・キャンバス	
50	二宮秀夫	人	1982	182.0 × 227.0	油彩・キャンバス	二宮玲子氏寄贈
51	白根光夫	繚乱吉野山図	1990	各隻175.0×380.0	油彩・板	
52	森田曠平	隅田川	1979	45.5 × 909.0	紙本着色	
53	作者不詳	孔雀牡丹桜図屏風(一双)	明治時代	各隻172.5×365.4	紙本金地着色	帆足市太氏寄贈
54	狩野常信	花鳥図屏風(一双)	江戸時代前期	各隻170.5×376.6	紙本金地着色	帆足市太氏寄贈
55	原口典之	UNTITLED AA-04	1981	122.5×122.5×11.0	ポリウレタン	西澤みどり氏寄贈
56	吉村益信	月の人(II)	1990-94	44.0×67.0×36.0	焼き付け塗装・鉄	
57	吉村益信	宇宙卵	1990-94	37.0×28.0×28.0	カラー焼き付け塗装・鉄	
58	斎藤義重	ポオパン D・赤	1971	73.0 × 61.0	合成樹脂・アルミ板	
59	斎藤義重	ポオパン A・白	1971	73.0 × 61.0	合成樹脂・アルミ板	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
60	斎藤義重	ポオパン C・青	1971	73.0 × 61.0	合成樹脂・アル ミ板	
61	斎藤義重	ポオパン B・白	1971	73.0 × 61.0	合成樹脂・アル ミ板	
62	斎藤義重	ポオパン E・黒	1971	73.0 × 61.0	合成樹脂・アル ミ板	
63	草間彌生	かぼちゃ (黄T)	1992	72.3 × 60.4	シルクスクリー ン・紙	
64	岡崎乾二郎	食べものに関する こととなると、… …(2点セット)	2002	各180.0×130.0× 5.0	アクリル・キャ ンバス	
65	加納光於	青ライオンあるい は《月・指》Ⅰ	1991-92	71.0 × 56.5	カラーインタリ オ	
66	加納光於	青ライオンあるい は《月・指》Ⅱ	1991-92	71.0 × 56.5	カラーインタリ オ	
67	加納光於	青ライオンあるい は《月・指》Ⅲ	1991-92	71.0 × 56.5	カラーインタリ オ	
68	加納光於	青ライオンあるい は《月・指》Ⅳ	1991-92	71.0 × 56.5	カラーインタリ オ	
69	加納光於	青ライオンあるい は《月・指》Ⅴ	1991-92	71.0 × 56.5	カラーインタリ オ	
70	加納光於	青ライオンあるい は《月・指》Ⅵ	1991-92	71.0 × 56.5	カラーインタリ オ	
71	加納光於	青ライオンあるい は《月・指》Ⅶ	1991-92	71.0 × 56.5	カラーインタリ オ	
72	加納光於	《Circle一波打つ 眉をしずめよ》 No. 33	1996	76.6 × 57.9	モノタイプ	
73	加納光於	《Circle一波打つ 眉をしずめよ》 No. 41	1996	76.6 × 57.9	モノタイプ	
74	加納光於	《Circle一波打つ 眉をしずめよ》 No. 48	1996	76.6 × 57.9	モノタイプ	
75	加納光於	《Circle一波打つ 眉をしずめよ》 No. 54	1996	76.6 × 57.9	モノタイプ	
76	加納光於	「波動説」intaglio をめぐってNo. 10	1984-85	42.4 × 57.0	カラーインタリ オ	
77	加納光於	「波動説」intaglio をめぐってNo. 19	1984-85	44.5 × 58.3	カラーインタリ オ	
78	加納光於	「波動説」intaglio をめぐってNo. 24	1984-85	45.0 × 62.0	カラーインタリ オ	
79	加納光於	「波動説」addendum Ⅰ	1986	50.0 × 70.0	カラーインタリ オ	
80	ジョセフ・ア ルバース	“Formulation Articulation” 028	1972	30.7 × 16.6	シルクスクリー ン	
81	ジョセフ・ア ルバース	“Formulation Articulation” 029	1972	30.7 × 16.6	シルクスクリー ン	
82	ジョセフ・ア ルバース	“Formulation Articulation” 030	1972	30.7 × 16.6	シルクスクリー ン	
83	ジョセフ・ア ルバース	“Formulation Articulation” 031	1972	30.7 × 16.6	シルクスクリー ン	
84	ジョセフ・ア ルバース	“Formulation Articulation” 019	1972	29.2 × 41.0	シルクスクリー ン	
85	ジョセフ・ア ルバース	“Formulation Articulation” 020	1972	29.2 × 41.0	シルクスクリー ン	
86	ジョセフ・ア ルバース	“Formulation Articulation” 032	1972	21.8 × 43.3	シルクスクリー ン	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材	備考
87	ジョセフ・アルバース	"Formulation Articulation" 033	1972	21.5 × 43.3	シルクスクリーン	
88	ジョセフ・アルバース	"Formulation Articulation" 053	1972	31.7 × 33.1	シルクスクリーン	
89	ジョセフ・アルバース	"Formulation Articulation" 054	1972	31.7 × 33.1	シルクスクリーン	
90	ジョセフ・アルバース	"Formulation Articulation" 056	1972	24.4 × 28.0	シルクスクリーン	
91	ジョセフ・アルバース	"Formulation Articulation" 057	1972	31.8 × 34.3	シルクスクリーン	
92	ジョセフ・アルバース	"Formulation Articulation" 003	1972	25.3 × 30.7	シルクスクリーン	
93	ジョセフ・アルバース	"Formulation Articulation" 006	1972	30.4 × 36.2	シルクスクリーン	
94	ジョセフ・アルバース	"Formulation Articulation" 102	1972	33.2 × 38.1	シルクスクリーン	
95	幸寿	無窮	1981	195.0 × 260.0	油彩・キャンバス	幸寿氏寄贈
96	詫間夢鳳	竹柏勁心	2007	69.6 × 77.6	紙本墨画	詫間文男氏寄贈
97	田辺信幸	櫛目組竹飾籠「宴」	2003	高さ43.0 径36.6	竹、籐	
98	十四代酒井田柿右衛門	濁手藤文一輪生	制作年不詳	径11.5 高22.0	磁器	
99	田能村竹田	松鶴図	1828	各図51.7×44.6	絹本着色	
100	田能村竹田	秋景山水図	1828	各図22.8×41.6	紙本墨画淡彩	
101	高倉観崖	四季山水図	1937	各図143.4×53.4	絹本着色	

3. 4. まちなかアートフルロード推進事業 まちなかアート遊園地

概要 大分市美術館をはじめとして、中心市街地を含めた合計11か所で、21組の美術家が「アートと遊び」をキーワードにしたイベントを展開し、美術館及びまちなかにアートによる回遊性を創出するとともに、中心市街地における賑わい効果を市美術館まで波及させ、市美術館の存在をアピールした。

会期 平成28年9月30日(金)～10月2日(日) 公開日数3日間

主催 大分市美術館

後援 大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム

協力 アートプラザ、大分銀行、大分県芸術文化スポーツ振興財団、大分県立芸術文化短期大学、大分県立芸術緑丘高等学校、大分県立美術館、大分市商店街連合会、大分まちなか倶楽部、Osteria Bucio、カモシカ書店、コトブキヤ文具店、田崎洋酒店、日本文理大学、NPO法人 BEPPU PROJECT、FIKA+、Mitsuki like a charm

会場 大分市美術館、大分市美術館前芝生広場(上野丘子どものもり公園 展望広場)、大分銀行宗麟館、大分駅府内中央口(北口)広場、田崎洋酒店、Osteria Bucio、FIKA+、カモシカ書店、Mitsuki like a charm、コトブキヤ文具店本店、大分県立美術館

出展・参加アーティスト

伊藤昭博、伊藤裕美子、遠藤ななこ、遠藤ももこ、Oelectronica、勝正光、川島茂雄、北村直登、木村秀和、近藤雅代、田北寛子、中野伸哉、中野マーク周作、Nadogata Instant Party(中崎透+山城大督+野田智子)、二宮圭一、豚星なつみ、藤田洋平、古庄優子、宮部洋二、森貴也、渡邊友美、門司港鉄道おもちゃ共和国、ボサノヴァユニット flor 他

入場者数	大分市美術館	企画展示室	1,038人
	同	研修室	145人
	大分銀行宗麟館		155人
	大分駅府内中央口広場		453人
	田崎洋酒店		81人
	Osteria Bucio		98人
	FIKA+		100人
	カモシカ書店		185人
	Mitsuki like a charm		200人
	コトブキヤ文具店本店		75人
	合計		2,530人

入場料(大分市美術館 企画展示室会場のみ)

一般500(400)円/高大生300(250)円、中学生以下無料

※ () 内は 20 人以上の団体料金

関連行事 ■2016 年アートの旅

日 時 平成 28 年 9 月 30 日～10 月 2 日 午前 10 時～正午、午後 1 時～4 時

場 所 大分市美術館、大分銀行宗麟館、田崎洋酒店、FIKA+、大分県立美術館（研修室）

参加者 838 人（各場所の参加者数合計）

■みんなで作る！夜空のスカイランタン・インスタレーション

日 時 平成 28 年 10 月 1 日 午後 4 時 30 分～6 時 50 分

参加者 530 人

■会場めぐりツアー

日 時 ①平成 28 年 9 月 30 日 午前 10 時～午後 4 時

②平成 28 年 10 月 1 日 午後 1 時～5 時 30 分

③平成 28 年 10 月 2 日 午前 10 時～午後 4 時

参加者 ①2 人 ②5 人 ③6 人

印刷物 ポスターB2 判、チラシ A3 判（二つ折り）

（担当 岡村、片山、釘宮）

4. 教育普及事業

4. 1. 芸術・文化講座

市民の皆さんが芸術・文化に親しむ場として「芸術・文化講座」を開講した。

No.	講座名	期日・場所	内容・講師	人数
1	ライブペインティング鑑賞と筆ペンで象書体験	6月4日 午後1時30分～4時30分 ティーラウンジ 研修室	・ライブペインティング鑑賞 ・筆ペンで象書体験 講師：豚星なつみ氏	21
2	ワイヤークラフト 曲線美の世界—身近な植物をモチーフに	10月22日 午後1時30分～3時30分 研修室	・特別展を意識したテーマでのワイヤーアート制作 講師：沖美紀氏	20
3	多肉植物のクリスマスツリー	12月3日 午後1時30分～3時30分 研修室	・多肉植物のクリスマスツリー制作 講師：埴田由香氏	20

4. 2. アートカレッジ

一般市民を対象に、美術への関心を深めてもらうために実施した。

No.	開催日	講座名	人数
1	6月2日	「黒色の魅力について」 特別展「片岡鶴太郎展」・常設展示室1から	254
2	7月7日	「絵で見る 源氏物語」	
3	8月4日	常設展示室 「アート・ワンダーランド2016」から	
4	9月1日	「アートとテクノロジー」 特別展「チーム・ラボ展」から	
5	10月6日	「富春館コレクションについて」 —重要文化財の田能村竹田作品を中心に—	
6	11月3日	「ミュシャの魅力について」 (特別展「ミュシャ展」から)	

4. 3. 美術館で音楽会

美術館をより身近に感じてもらうために、市民に自主的な演奏・発表の場を提供した。

場 所 ハイビジョンホール

No.	開催日	出演者	演奏楽器	人数
1	9月3日	るるとりぷれっと♪	歌、ピアノ、コントラバス、 打楽器	881
2		西真地咲箏曲教室	箏、十七絃箏、ソプラノ箏、 尺八	
3	9月10日	kaikou flute ensemble (邂逅フルートアンサンブル)	フルート四重奏、ピアノ	
4		アルマ・デ・ギターラ (ギター之魂)	クラシックギター	
5	9月17日	春日ハーモニカクラブ	ハーモニカ、マンドリン	
6		blue sax	サククス、ギター、歌	
7	10月15日	Mars (マーズ)	ギター、コントラバス	
8		オカリナ・フルート アンサンブル「ポラーノ」	フルート、オカリナ、ピアノ	
9	10月29日	MUSICA BOUQUET (ムジカ ブーケ)	声楽、フルート、ピアノ	
10		アンサンブルブロックフ レーテOITA	リコーダー	

4. 4. 子ども講座

	講座名	開催日・時間	内容等	人数
GW 美術教室	コロコロぴかぴか☆どろだんご	4月29日・4月30日 午後1時30分～3時30分〔全2回〕	土を使って、磨くと光るどろだんご制作	167
夏の 美術教室	ハッピーアンブレラ	6月11日・18日 午後1時30分～3時30分〔全2回〕	ビニール傘に絵を描き、完成後みんなで散歩をする	103
秋の 美術教室	スタンドアート	11月19日 午後1時30分～3時30分〔全1回〕	特別展鑑賞とワークショップの2つを楽しむ講座（ミュシャ展）	46
冬の 美術教室	きらきらランプ	12月17日 午後1時30分～3時〔全1回〕	ガラスのコップにおはじきを貼って作るランプ	53

夏の 子ども講座	1	ウインドベル	7月16日・17日・23日・24日 午前10時30分～午後12時30分／午後2時～4時〔全8回〕	軽くて伸びる粘土で作る風鈴制作	370
	2	けしごむハンコで作るてぬぐい	7月28日・29日 午前10時30分～午後12時30分／午後2時～4時〔全4回〕	彫刻刀を使ってけしごむハンコを作り、さらし布に自由にスタンプ	192
	3	はりこの犬	8月4日・5日 午後1時30分～3時30分〔全2回〕	新聞紙を使ってはりこの犬をつくる	98
	4	マイ・ロボット	8月11日・12日 午前10時30分～午後12時30分／午後2時～4時〔全3回〕	木切れを組みボンドや釘でつけロボットをつくる	68
	5	美術館で紙芝居	8月19日・25日・26日 午後1時～3時〔全3回〕	大分のアーティストや上野の森の紙芝居を上演	290
	6	大切な人へ贈り物	9月10日・11日 午後1時～3時30分〔全2回〕	大切な人へ贈る手作りの植木鉢	90

合 計				1477
-----	--	--	--	------

4. 5. 美術館出前教室

郷土出身美術家の作品を身近に鑑賞することで、市内小中学校の児童、生徒に美術への興味・関心を高めてもらうことを目的として出前教室を実施した。

No.	開催日	学校(学年)	内容	人数
1	9月15日	鷺野小学校(2年生)	「豊山豊水」高山辰雄・「金魚と子供」糸園和三郎	46
2		明治小学校(6年生)	「豊山豊水」高山辰雄・「エンドレスパラダイス」宮崎勇次郎	138
3	10月6日	明野東小学校(4, 6年生)	「豊山豊水」高山辰雄・「エンドレスパラダイス」宮崎勇次郎	119
4	10月27日	明野西小学校(5年生)	「豊山豊水」高山辰雄・「エンドレスパラダイス」宮崎勇次郎	88
5		長浜小学校(6年生)	「豊山豊水」高山辰雄・「エンドレスパラダイス」宮崎勇次郎	40
6	11月10日	佐賀関中学校(全校)	「豊山豊水」高山辰雄・「エンドレスパラダイス」宮崎勇次郎	65
7		横瀬西小学校(4年生)	「豊山豊水」高山辰雄・「エンドレスパラダイス」宮崎勇次郎	35
8	11月24日	松岡小学校(2年生)	「豊山豊水」高山辰雄・「エンドレスパラダイス」宮崎勇次郎	108
9	12月1日	松岡小学校(2年生)	「豊山豊水」高山辰雄・「エンドレスパラダイス」宮崎勇次郎	81
10		こうざき小学校(4, 5年生)	「豊山豊水」高山辰雄・「エンドレスパラダイス」宮崎勇次郎	58

合計 778

4. 6. 職場体験

学校からの要請に応え、館内見学や労働体験(監視・学芸員体験・講座準備など)の場を提供した。

No.	受入日	学校名	人数
1	6月28・29日	明野中学校	6
2	7月7・8日	植田東中学校	8
3	9月6・7・8日	王子中学校	4
4	9月14日	大東中学校	8

合計 26

4. 7. ボランティア研修講座

大分市美術館では、教育普及活動の推進を図るため市民による「美術館ボランティア」を設置している。本講座は、本館で活動する美術館ボランティアを対象に美術館が実施する展覧会、その他の事業及び運営等についての理解を深め、日常活動に反映してもらうことを目的としたものである。

場 所 企画展示室他

No.	開催日	内容	人数
1	4月28日	「大分のアートシーン CIAO! “進世代”の胎動」 レクチャー	253
2	5月18・25日 6月1・8日	「片岡鶴太郎展 還暦紅」 展示解説聴講	
3	6月23日	「チームラボアイランド 踊る!美術館と、学ぶ!未来の 遊園地」レクチャー 「アート・ワンダーランド2016」レクチャー	
4	10月12・19・26日 11月2日	「ミュシャ展」展示解説聴講	
5	1月18・25日	「郷土在住作家展X 鈴木忠実展」展示解説聴講	
6	2月8・15日	「郷土在住作家展X 高木岩義展」展示解説聴講	

4. 8. ボランティア養成講座

大分市美術館では、美術や社会貢献に関心のある市民が、様々な美術館活動に関与するボランティアとして参画している。本講座は、ボランティアとして登録にあたり、必要な知識等を習得する講座である。

場 所 ハイビジョンホール他

No.	開催日	内容	人数
1	12月1日	開講式・オリエンテーション 大分市美術館の活動について	94
2	12月9日	展覧会の企画について ボランティア活動体験（ワークグループ）	
3	12月13日	教育普及活動について ボランティア活動体験（普及・運営グループ）	
4	12月20日	所蔵作品・作家について ボランティア活動体験（トークグループ）	
5	1月11日	美術品の収集・保存について ボランティア活動体験（資料グループ）	
6	1月18日	閉講式	

4. 9. ボランティア活動

4つのグループで、下記のような活動を行った。

(1) 資料グループの活動

- ・毎週水曜日、金曜日（予備日） 午前10時30分～正午
- ・新聞記事スクラップ整理、作家別資料ファイル作成・整理、図書整理、チラシ整理・配置他

(2) トークグループの活動

- ・毎週火曜日 午後1時30分～3時30分
- ・常設展でのギャラリートーク（毎週土曜日午後1時30分から）
- ・小中学校の団体対応や夏休みでの鑑賞ツアー

(3) ワークショップグループの活動

- ・毎週金曜日、午前10時～正午
- ・子ども講座等の準備、当日の制作補助
- ・「ちびっ子工作ルーム」（9月以降の毎月第1金曜日午後1時30分～3時30分）

(4) 普及・運営グループの活動

- ・毎月第2・4火曜日、午前10時30分～正午
- ・「第1月曜日は美術館で楽しもう！」（毎月第1月曜日午前10時～午後3時）
- ・「アートカレッジ」「芸術・文化講座」「美術館で音楽会」「ボランティア養成講座」への協力
- ・特別展のオープニング受付

4.10. 博物館実習

実習生 4名

期 間 平成28年8月22日～9月2日
午前10時～午後5時

- 内 容
- 1 日目 事務連絡、美術館施設見学、収蔵品の特徴について聴講
 - 2 日目 作品の収集について、美術の見方、楽しみ方について聴講、外部対応
 - 3 日目 近世絵画の解説と取り扱いについて聴講
 - 4 日目 発送作業、美術館における教育普及活動について聴講
 - 5 日目 企画展等事業の実施について、発送作業
 - 6 日目 展覧会の広報・宣伝、ボランティア活動について聴講、発送作業
 - 7 日目 契約事務、美術館の仕事について聴講、収蔵庫清掃
 - 8 日目 美術館の使命と運営について聴講、「企画展を計画する」のレポート作成、事前説明
 - 9 日目 「企画展を計画する」のレポート作成、アートカレッジ聴講
 - 10 日目 「企画展を計画する」のレポート発表・質疑応答、実習ノートの作成

4. 1 1. 各種刊行物

美術館活動への参加、理解をより促進するため、当館の展示、調査・研究、教育普及などの活動に伴うワークシート等の刊行物を発行した。

(1) 展覧会関連

名称	規格	頁数
アート・ワンダーランド、チーム・ラボ展 ワークシート（小学校低学年用）	A4	4
アート・ワンダーランド、チーム・ラボ展 ワークシート（小学校高学年用）	A4	4
アート・ワンダーランド、チーム・ラボ展 ワークシート（中学生用）	A4	4
生誕 110 年佐藤敬展解説シート	A4	4
第 51 回大分市美術展覧会 目録	A4	8

(2) 定期刊行物等

平成 28 年度 大分市美術館年報	PDF ファイル	86
-------------------	----------	----

5. 資料収集事業

5.1. 美術品等収集事業

ジャンル別収集美術品等点数(平成29年3月31日現在)

	ジャンル	購入		寄贈		合計		寄託	
		数	()	数	()	数	()	数	()
1	日本画	382	(3)	239	(3)	621	(6)	23	
2	洋画	250	(2)	356	(3)	606	(5)	6	(1)
3	彫刻	150		16	(3)	166	(3)	3	(1)
4	工芸	67	(2)	41		108	(2)	1	
5	書	31		29		60		1	
6	写真	68		413		481		0	
7	版画	802		102	(4)	904	(4)	1	
8	水彩	6		10		16		0	
9	素描	22		15		37		50	
10	デザイン	1		4		5		0	
11	資料	4		29	(1)	33	(1)	1	
12	その他	45		22		67		0	
	合計	1828	(7)	1276	(14)	3104	(21)	86	(2)

() 内は28年度収集点数

平成28年度収集作品

■日本画

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備考
1	田能村 竹田	豊北瀕海名勝図	1832年	104.5× 33.6	絹本墨画淡彩/軸装	購入
2	春叢	布袋図	1834年	80.5× 28.0	紙本墨画/軸装	購入
3	福田 平八郎	鮎	1958年	48.5× 75.5	紙本着色/額装	購入
4	帆足 杏雨	松下高談図	1833年	24.6× 18.2	紙本墨画淡彩/軸装	寄贈
5	松本 古村	一千九百十九年渡欧記念之図	1919年	59.6× 113.0	紙本着色/屏風装	寄贈
6	幸松 春浦	磯	1940年代	181.5× 74.5	紙本着色/額装	寄贈

■洋画

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備考
7	石川 賢	オストーニ讃Ⅱ	2014年	194.0× 162.0	油彩・キャンバス /額装	購入
8	利光 敏郎	陽光	2015年	162.0× 130.3	油彩・キャンバス /額装	購入
9	石川 賢	ピエステ(イタリア東海岸)	2005年	130.3× 162.0	油彩・キャンバス /額装	寄贈
10	利光 敏郎	婦人座像	1999年	130.3× 97.0	油彩・キャンバス /額装	寄贈
11	田中 昇	ひまわり	1971年	53.0× 45.0	油彩・キャンバス /額装	寄贈
12	草間 彌生	幻影の彼方/インフィニ ティネット	1999年	160.5× 227.0	アクリル・キャン バス	寄託

■彫刻

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備考
13	雨宮 透	聖フランシスコ ザビエル像2013	2013年	高58.5× 幅42.0× 奥行24.0	ブロンズ	寄贈
14	柚野 朝男	空を旅する1503	2015年	高21.0× 径69.0	人工漆・合板ベニア	寄贈
15	吉村 益信	コーナー・アウト・イン マケット	1967年	高17.0× 幅12.0× 奥行13.0 他	油性蛍光塗料・ス テンレス	寄贈
16	草間 彌生	幻影の彼方	1999年	高145.0 ×径91.0	ミクストメディア	寄託

■工芸

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備考
17	生野 徳三	オブジェ 鵬	2011年	高15.0× 幅130.0 ×奥行 45.0	竹、籐、ステンレス	購入
18	生野 徳三	モビール 巻き貝	2012年	高60.0× 径25.0	竹、籐、ステンレス	購入

■版画

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備考
19	寺司 勝次郎	虹	1996年	130.0× 80.0	木版画・紙／額装	寄贈
20	赤瀬川 原平	模型千円札Ⅲ	1963年	29.5× 19.5	オフセット・紙／ 未装幀	寄贈
21	赤瀬川 原平	大日本零円札	1967年	14.4× 30.8	オフセット・紙／ 未装幀	寄贈
22	ハイレッ ド・セン ター	特報！通信衛星は何者に 使われているか！	1967年	17.4× 25.4	オフセット・紙／ 未装幀	寄贈

■資料

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備考
23	千円札事件 懇談会	千円札裁判資料一件	1966～ 1967年	43.6× 30.4他	印刷物／未装幀	寄贈

5. 2. 平成28年度美術作品貸出実績

件数	No.	作者	作品名	展覧会名	会場	会期
1	1	草間彌生	ACCRETION No. 3	YAYOI KUSAMA	ヘニー・オンスタッド・アートセンター (ノルウェー)	平成28年2月18日 ～5月15日
					ストックホルム近代美術館 (スウェーデン)	平成28年6月10日 ～9月11日
					ヘルシンキ美術館 (フィンランド)	平成28年10月7日 ～29年1月22日
2	2	宮崎喜恵	大地に	日本画友の会結成35周年記念 宮崎喜恵と日本画友の会展	朝倉文夫記念文化ホール	平成28年4月14日 ～5月7日
3	3	浦上春琴	花鳥図	文人として生きる—浦上玉堂と春琴・秋琴 父子の芸術	岡山県立美術館	平成28年9月23日 ～10月30日
					千葉市美術館	平成28年11月10日 ～12月18日
4	4	佐藤敬	水災に就いて	日本におけるキュビスム—ピカソ・インパクト	鳥取県立博物館	平成28年10月1日 ～11月13日
					埼玉県立近代美術館	平成28年11月23日 ～29年1月29日
					高知県立美術館	平成29年2月12日 ～3月26日
5	5	矢岡勲	界	国展大分作家展第5回記念展	大分県立美術館	平成28年11月8日 ～13日
	6	矢岡勲	車による(A)			
	7	谷口晶之	湧1			
6	8	有元利夫	遊戯	開館25周年記念アーティストの反骨精神『沸点』	田川市美術館	平成28年11月18日 ～12月25日
	9	駒井哲郎	九つの夢から 5			
7	10	吉村益信	豚;Pig Lib;	パロディ 二重の声	東京ステーションギャラリー	平成29年2月18日 ～4月16日

7件10点

5. 3. 図書

備品図書 4,567冊 (平成29年3月31日現在)

5. 4. 映像資料

- | | |
|--------------------------|--------------|
| (1) 高山辰雄 | (26分) VHS |
| (2) 日本の巨匠シリーズ 日本画家 中島 千波 | (26分) VHS |
| (3) 版画の技法と表現 木版画 | (23分23秒) VHS |
| (4) ネオ・ダダビデオ R1 | (70分26秒) D2 |
| (5) ネオ・ダダビデオ R2 | (71分1秒) D2 |
| (6) ネオ・ダダ展イベントビデオ | (44分30秒) D2 |
| (7) 世界・美の旅 14 ゴヤ | (30分) VHS |
| (8) 世界・美の旅 10 ピカソ | (30分) VHS |

6. 管理運営

6. 1. 職員数 平成29年3月31日現在

職名	館長 (再任用)	課長	参事 補	主査、 専門員	主事	指導 主事	事務員	嘱託	合計
館長・課長	1	1							2
総務担当班			1	1	2				4
学芸担当班				4	1				5
広報普及担当班			1	1		1		2	5

* 平成26年4月1日からチャイルドハウスの施設管理を市公園緑地課から事務委任された。

* チャイルドハウス管理人（嘱託職員2人）は広報普及担当班とする。

6. 2. 事務分掌

課	班(グループ)	事務分掌
美術館 美術 振興課	総務担当班	(1) 美術館の施設及び設備の維持管理並びに使用許可に関する事。 (2) アートプラザの指定管理者に対する指導及び助言並びにモニタリングに関する事。 (3) チャイルドハウスの施設及び設備の維持管理並びに使用許可に関する事。
	学芸担当班	(1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関する事。 (2) 美術に関する専門的な調査及び研究に関する事。 (3) 寄託及び寄贈に係る美術品等の選定に関する事。 (4) 美術に関する案内書、解説書、目録等の刊行に関する事。 (5) 美術に関する展覧会、講演会、研究会等の開催及び奨励に関する事。 (6) 他の美術館等との連絡、協力、情報の交換及び美術品等の相互貸借等に関する事。
	広報普及担当班	(7) 美術の教育及び普及に関する事。 (8) アートプラザの60年代ホール及び磯崎新建築展示室資料等の保管及び展示に関する事。 (9) チャイルドハウスの利活用に関する事。

6.3. 利用状況

(1) 利用者内訳

年度	展覧会			研修室	フリーゾーン						美術館 展示施設等 の利用者の 合計 (G)= A+B+F	レスト ラン (H)	美術館 施設利用 者総計 (I)= G+H	チャイルドハ ウス (J)	美術館 出前教 室 (K)	美術館 全体の 総利用 者再 計 (L)=I +J+K		
	常設 展	特別 展	小計 (A)		ハイビジョンホール				ミュー ジウム ショップ (D)	その他 (図書 コー ナー、 ティ ーラ ウン ジ 等) (E)							フリー ゾーン 中計 (F)=C+ D+E	
				利用者 (B)	館事業 講座	特別展 関連講 座	その他	小計 (C)										
10	45,226	43,556	88,782	263					4,337		4,337	93,382	10,027	103,409			103,409	
11	77,837	79,900	157,737	5,085	1,439				1,439	11,048		12,487	175,309	32,040	207,349	143	587	208,079
12	66,956	81,684	148,640	3,532	1,982	257	1,600	3,839	10,430		14,269	166,441	23,672	190,113	120	791	191,024	
13	49,964	67,206	117,170	6,806	1,621	269	2,000	3,890	8,632		12,522	136,498	21,120	157,618	194	1,633	159,445	
14	33,226	86,488	119,714	5,936	1,563	241	2,000	3,804	4,378		8,182	133,832	14,861	148,693	1,465	1,188	151,346	
15	40,774	70,660	111,434	8,073	2,026	17,043	933	20,002	10,421		30,423	149,930	8,421	158,351	1,078	1,566	160,995	
16	33,492	29,705	63,197	7,885	5,056	561	2,209	7,826	3,981	14,121	25,928	97,010	43,198	140,208	1,020	1,269	142,497	
17	35,594	32,218	67,812	8,116	5,822	1,848	1,881	9,551	6,006	23,779	39,336	115,264	41,760	157,024	414	566	158,004	
18	41,965	56,163	98,128	10,359	4,577	1,375	2,420	8,372	8,391	33,541	50,304	158,791	46,398	205,189	413	800	206,402	
19	39,688	55,723	95,411	8,935	2,526	563	1,874	4,963	7,543	28,928	41,434	145,780	46,428	192,208	243	644	193,095	
20	41,487	59,031	100,518	9,371	2,925	509	1,781	5,215	8,124	35,694	49,033	158,922	45,643	204,565	309	593	205,467	
21	43,838	77,173	121,011	9,674	1,604	647	1,898	4,149	10,353	26,762	41,264	171,949	49,431	221,380	642	326	222,348	
22	70,336	90,804	161,140	9,247	2,203	341	230	2,774	5,725	189,262	197,761	368,148	46,158	414,306	658	572	415,536	
23	115,816	170,979	286,795	7,836	1,861	757	0	2,618	15,780	355,788	374,186	668,817	53,533	722,350	383	562	723,295	
24	80,831	142,110	222,941	8,469	1,652	445	90	2,187	12,559	298,414	313,160	544,570	48,053	592,623	339	490	593,452	
25	83,566	141,938	225,504	9,607	403	33,437	0	33,840	31,318	268,924	334,082	569,193	48,881	618,074	569	414	619,057	
26	61,478	114,723	176,201	6,316	1,601	517	0	2,118	9,303	120,269	131,690	314,207	42,055	356,262	5,753	482	362,497	
27	60,996	106,983	167,979	5,587	1,295	6,556	62	7,913	4,915	127,867	140,695	314,261	44,867	359,128	9,164	4,996	373,288	
28	94,648	145,015	239,663	1,806	1,389	3,263	0	4,652	18,579	153,094	176,325	417,794	20,219	438,013	12,898	778	451,689	
累計	1,117,718	1,652,059	2,769,777	132,903	41,545	68,629	18,978	129,152	191,823	1,676,443	1,997,418	4,900,098	686,765	5,586,863	35,805	18,257	5,640,925	

(2) 企画展(特別展)観覧者

展覧会名	開催期間	日数	観覧者	一日平均
CIAO!“進世代”の胎動	平成28年 4月14日～ 5月 8日	23	6,135	267
片岡鶴太郎展 還暦紅	平成28年 5月13日～ 7月 3日	46	29,902	650
チームラボアイランド 踊る!美術館と、学ぶ!未来の遊園地	平成28年 7月15日～ 9月15日	71	79,645	1,122
まちなかアート遊園地	平成28年 9月30日～10月 2日	3	1,038	346
ミュシャ展	平成28年10月 8日～12月 4日	51	16,993	333
第65回 高文連 美術・書道・写真 中央展	平成28年12月 8日～12月18日	8	1,878	235
第68回 大分県立芸術緑丘高等学校美術制作展	平成28年12月20日～12月25日	6	1,232	205
郷土在住作家展X 鈴木忠実展 高木岩義展	平成29年 1月11日～ 2月19日	34	3,716	109
第51回 大分市美術展〔公募展〕	平成29年 3月 3日～ 3月26日	22	4,476	203

6. 4. 建築設備概要

建物概要	所在地	大分市大字上野 865 番地
	設計	内井昭蔵建築設計事務所
建築概要	監理	大分市土木建築部建築課、内井昭蔵建築設計事務所
	施工	建築：清水建設・佐伯建設特定建設工事共同企業体 電気：東芝プラント建設・大徳電業特定建設工事共同企業体 空調：ダイダン・但馬設備工業特定建設工事共同企業体 給排水衛生：富士輝工業株式会社 昇降機：株式会社東芝 都市ガス：大分瓦斯株式会社
	工事期間	平成 8 年 12 月 18 日～平成 10 年 9 月 30 日
	総事業費	7, 090, 129 千円
	敷地面積	129, 837 m ² (上野丘公園全体)
	建築面積	美術館 6, 570. 65 m ² 屋外便所 52. 86 m ² 計 6, 623. 51 m ²
	延床面積	美術館 9, 036. 48 m ² 屋外便所 48. 52 m ² 計 9, 085. 00 m ²
	構造	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 2 階建
	屋根	外断熱アスファルト防水押えコンクリート、鉛破覆銅板立ハゼ葺・一部瓦棒葺、アルミダイキャスト
	外壁	珪藻土搔落し・洗い出し、金ゴテ押え、鉛破覆銅板平葺・菱葺、せつ器質タイル張、アルミダイキャスト、アルミ押出リブパネル、諫早石ソフトビシャン
電気設備	電力引込	3 相 3 線 6.6KV 60HZ 1 回線受電地中引込
	受変電	屋内キュービクル式受配電盤 設備受量 1800KVA
	非常用	発電機 1 台 ガスタービン 375KVA 出力 610PS 蓄電池(非常照明用)1 組 無停電電源装置 1 式
弱電設備	設備内容	電話設備、放送設備、インターホン、難聴者設備(フラットループアンテナ)、盲人誘導装置(コントロールボックス、スピーカ 6 か所)、電気時計装置、ローカルアンプワゴン、研修室 AV 装置(ビデオプロジェクター、電動昇降スクリーンほか)
空調設備	熱電	直焚吸収冷温水機 2 空冷スクリュウヒートポンプチラー1 冷却塔 2
	空調機	4 管式 AHU 単一ダクト方式(24 時間系統)、2 管式 AHU 単一ダクト方式(一般系統)、酸アルカリ除去フィルター装置、パネルヒーター、パッケージ型空調機、ファンコイルユニット
	換気	給気送風機、排気送風機、空調換気扇、オゾン脱臭機
給排水	給水	圧力方式(一部直接給水)
衛生設備	排水	構内：分流方式 構外：合流方式(公共下水道)

昇降機 乗用エレベータ 油圧 2 段速度制御方式 車椅子仕様 定員 13 名 / 1 基、
油温油圧補償制御方式 車椅子仕様 定員 11 名 / 2 基
荷物用エレベータ 油圧 2 段速度制御方式 積載量 2,500kg / 1 基
テーブルリフター リフト 1.58m テーブル 1.5m × 3m 荷重 3,000kg / 2 基

6.5. フロア別面積

建築面積（単位：㎡）

美術館	屋外便所棟	合計
6,570.65	52.86	6,623.51

延床面積（単位：㎡）

企画展示棟	常設展示棟	合計	屋外便所棟	総計
5,841.93	3,194.55	9,036.48	48.52	9,085.00

部門別面積

部門	面積（単位：㎡）	構成比率	室名	面積（単位：㎡）
展示部門	2,097.81	23.2	企画展示室1	428.88
			企画展示室2	429.25
			常設展示室1	495.45
			常設展示室2	237.24
			常設展示室3	195.74
			常設展示室4	79.72
			展示ロビーほか	231.53
教育普及部門	494.68	5.5	ハイビジョンホール	120.68
			ハイビジョンブース	34.88
			ハイビジョン静止画工房	18.24
			研修室	169.94
			図書コーナー	101.77
			ボランティア室	49.17
サービス部門	2,085.93	23.1	ミュージアムショップ	126.10
			エントランスホール	299.94
			レストラン	322.84
			救護室	8.61
			授乳室	19.08
			ティーラウンジ・ロビー他	1,309.36
収蔵部門	1,410.13	15.6	収蔵庫1	320.05
			収蔵庫2	229.45
			収蔵庫3	180.66
			収蔵庫4	109.21
			荷解室1・2、荷卸室ほか	570.76
管理部門	593.30	6.6	館長室	32.18
			事務学芸員室	242.93
			会議室1・2	110.79
			中央監視室	54.01
			応接室ほか	153.39
その他	2,354.63	26.0	機械室関係	944.92
			廊下・階段・ELV等	897.27
			倉庫・WC等	512.44
合計	9,036.48	100.0		

6.6. 決算見込

(単位:千円)

項目	年度	平成28年度	
		美術館	アートプラザ
人件費		104,781 (職員15名分 ※嘱託2名分含む)	
管理費	委託料	85,707	76,982
	光熱水費	52,217	0
	その他	60,969	415
	小計	198,893	77,397
人件費+管理費		303,674	77,397
事業費	展覧会事業	38,341	0
	教育普及事業	1,423	0
	資料関係費	40,000	0
	その他	661	603
	小計	80,425	603
合計		384,099	78,000
総計			462,100

6.7. 利用案内

利用時間・料金

開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）。但し、毎月第1月曜日は開館しその翌日の火曜日が休館。年末年始（12月28日～1月4日）。*夏休み期間は、休館日なし。

観覧料

常設展		
区分	個人	団体（20人以上）
一般	300円	250円
高・大生	200円	150円

特別展

特別展料金はその都度決定する。

施設使用料

室名	使用料
研修室	1時間につき 1,080円

注 冷暖房期間中は、上表により算定した使用料の4割に相当する額を加算する。

交通案内

バス JR大分駅から中心市街地循環バス 大分きゃんばす
大分市美術館方面行き [大分市美術館] 下車

タクシー JR大分駅上野の森口（南）から約7分
大分自動車道/大分I.C. から約10分

6.8. 条例

http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/aq50206181.html

6.9. 条例施行規則

http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/aq50206191.html

7. アートプラザ

7. 1. 運営方針

ゆとりと豊かさがある生涯学習生活をめざしていく中で、精神的なうるおいと安らぎのある市民生活を実現するため、新しい文化の創造と発信が積極的に行われる場として運営していく。そのために、市民のニーズと活用レベルに応じた対応や、気軽に活用できるためのシステムづくりに力を入れている。さらに、大分市出身の世界的建築家磯崎新氏建築作品の模型や資料の展示を行い、建築理念や思想などを紹介していく。

7. 2. 施設概要

(1) 沿革

昭和 41(1966)年 5月	大分県立大分図書館(磯崎新氏設計)として竣工
昭和 43(1968)年 4月	建築年鑑賞受賞
平成 6(1994)年 8月	大分県立大分図書館新築移転のため閉館
平成 7(1995)年 4月	大分市が無償貸与を受ける
平成 7(1995)年 11月	整備工事設計委託契約締結(磯崎新氏設計)
平成 8(1996)年 9月	整備工事契約締結
平成 9(1997)年 9月	アートプラザ条例制定
平成 9(1997)年 10月	アートプラザ竣工
平成 10(1998)年 2月	アートプラザ開館
平成 11(1999)年 3月	建物の譲与を受ける
平成 12(2000)年 1月	大分市が土地取得

(2) 概要

敷地面積	3,686.7 m ²	建築面積	1,599.94 m ²
延床面積	4,081.55 m ²	構造	鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階

(3) 施設の運営

平成 19(2007)年 4月	管理運営に指定管理者制度を導入
平成 19(2007)年 4月～平成 22年 3月	アートプラザ共同事業体
平成 22(2010)年 4月～平成 25年 3月	アートプラザ共同事業体
平成 25(2013)年 4月～平成 28年 3月	アートプラザ共同事業体
平成 28(2016)年 4月～	アートプラザ共同事業体 (平成 31年 3月までの予定)

7. 3. 業務内容

(1) 指定管理者が運営する業務

貸館業務

①市民ギャラリーA・B (1F)

主として個人やグループによる絵画・書・写真などの創作活動の発表の場として利用できる。また、A・Bを同時使用することもできる。

②アートホール (2F)

文化・芸術関係団体の展覧会場として、また、各種文化講演会や催事の会場として利用できる。

③研修室 (2F)

芸術・文化に関する講座や、一般の会議、研修会にも利用できる。

④実技室 (2F)

全紙が充分広げられる作業机・版画制作に必要なプレス機・イーゼル・水道設備も整っている。油絵・日本画・書道・工芸等々、各種制作活動や実技研修に利用できる。

(2) 大分市美術館が運営する業務

磯崎新建築資料展示業務 (3F・磯崎新建築展示室ほか)

「磯崎新の建築術 美術館建築」について

1960年代を通じてさまざまな都市計画のプロジェクトを提案した磯崎新ですが70年代以降は、単体的建築へと活動の場を移し、数々の代表作を設計します。特に1974年の《群馬県立近代美術館》以後、数多くの美術館・博物館を設計し、話題になりました。美術館は磯崎にとって、自身の建築理念の試金石として存在してきたといえます。それは美術館がさまざまな機能と人々の想いによってつくられ運営されていくパブリックな場だからに他なりません。美術館は美術家の作品（展示物）と観覧者（観客）と学芸員（企画者）といった異なった立場が出会う複合的な空間であり、建築家は建築に向かいつつも、日常と非日常が入り組んだスリリングな出来事の展開を可能にする場を演出するのです。それは一定のプログラムに基づいて設計をするだけでパブリックな空間が実現する時代ではないことを意味しており、美術館を設計することの困難さが横たわっています。その意味でも美術館は磯崎にとって都市の中で具現化されたプロジェクトであり、問題解決の系を孕んだ建築家の発想のチャンネルが凝縮されているといえるでしょう。そこには美術館の歴史的変遷（世代）と磯崎の手法や概念、さらには立方体やヴォールト、ピラミッド形、シリンダーといった形態の要素などが複雑に絡み合いながらマトリックスを形成し、磯崎の建築術の位相を垣間見ることができます。

今回の展示では70年代に始まった美術館・博物館の設計に見る磯崎新の建築手法やコンセプトの変遷をたどることにより、その思想と建築術のエッセンスを探ります。

会期：平成29年2月11日（土）～

（出品目録別添）

7. 4. 現代美術作品—60's ホールでの常設展示— (大分市美術館所蔵)

「ニューヨーク・アートシーンと日本人アーティスト—ネオ・ダダを中心に—」について

1960年代初頭、東京で前衛的活動を行ったネオ・ダダの作家たちの多くは、その後、活動の場をニューヨークに求めました。時期こそ前後するものの、荒川修作、吉村益信、平岡弘子、升沢金平、豊島壮六、田辺三太郎、篠原有司男など大半のメンバーが夢を追って前衛美術の本場、ニューヨークに乗り込んだのです。

また、田中信太郎や吉野辰海などは、短期間の滞在でありながら、ニューヨークで、米国在住のネオ・ダダをはじめ、現地のアーティストと活発に交流しており、ネオ・ダダとニューヨーク・アートシーンは密接な関係にありました。

一方、ネオ・ダダと同世代のアーティストも草間彌生を皮切りに近藤龍男、オノ・ヨーコ、川島猛、宮脇愛子、桑山忠明、楠本正明などが60年代に相次いで渡米し、現地でも活発な作家活動を展開しました。

渡米後、そのままその地で活動を続けた者、間もなく帰国し国内に最新のアートの風をもたらした者などさまざまですが、日本の現代美術の国際化促進に大いに貢献しました。

本展では、戦後日本の前衛美術が世界を舞台で活躍するきっかけをつくったアーティストたちの作品を紹介し、ネオ・ダダと60年代のアートシーンがその後どのように展開していったのかについて検証します。

会期：平成29年2月12日(日)～

(出品目録別添)

展示場所：磯崎新建築展示室(3F)

No	展示場所	作品名称	種別	制作年	サイズ	縮尺	材料
1	展示室 2	群馬県立近代美術館	概念模型	1974	2735×2480×500	1:200	木
2		群馬県立近代美術館	完成模型	1974	750×750×345	1:50	木
3		北九州市立美術館+アネックス	完成模型	1974/86	1165×900×500	1:100	木
4	展示室 3	西脇市岡之山美術館	完成模型	1984	715×390×275	1:200	木
5		ロサンゼルス現代美術館	完成模型	1986	715×300×275	1:200	木
6		ハラ・ミュージアム・アーク	構造模型	1988	2250×1940×670	1:20	木
7		ハラ・ミュージアム・アーク	完成模型	1988	650×500×275	1:200	木
8		水戸芸術館	完成模型	1990	1495×1495×1100	1:100	真鍮
9		水戸芸術館	構造模型	1990	440×380×1920	1:50	木/真鍮
10	展示室 4	富山県立山博物館	構造模型	1991	790×540×335	1:50	木
11		ブルックリン美術館	断面模型	1992	2300×1100×570	1:50	木
12		奈義町現代美術館	完成模型	1994	1090×790×250	1:100	木
13		ラ・コルーニャ人間科学館	完成模型	1995	900×720×470	1:200	プラスチック
14		証大ヒマラヤセンター	検討模型	2010	600×150×1000他	1:200	紙
15		証大ヒマラヤセンター	検討模型	2010		1:100	アクリル他
16	展示室 5	シュトゥットガルト現代美術館	完成模型	1990	2400×2000×570	1:100	木
17		シュトゥットガルト現代美術館	完成模型	1990	941×1240×410	1:200	木
18		ミュンヘン近代美術館	完成模型	1992	2100×1250×300	1:200	木

「ニューヨーク・アートシーンと日本人アーティスト—ネオ・ダダを中心に—」 展示リスト

展示場所：60'sホール(2F)

No.	展示場所	作者名	作品名	制作年	技法・素材
1	60'sホール	篠原 有司男	花魁	2009	デジタルプリント・キャンバス
2		篠原 有司男	女の祭	2009	デジタルプリント・キャンバス
3		篠原 有司男	ダラス旅行	1983	アクリル・カンヴァス
4		田中 信太郎	風の吹く場所	1992-93	繊維強化プラスチック
5		宮脇 愛子	UTSUROHII (86-D)	1986	シルクスクリーン・紙
6		宮脇 愛子	UTSUROHII (86-E)	1986	シルクスクリーン・紙
7		宮脇 愛子	UTSUROHII (86-F)	1986	シルクスクリーン・紙
8		吉野 辰海	十字行	1989-92	強化プラスチック
9		楠本 正明	REQUIEM OF GREEN	2002	アクリル・キャンバス
10		楠本 正明	HORIZONTAL CRASH	2001	アクリル・キャンバス
11		篠原 有司男	モーターサイクル・ヴァン・ゴッホ	1991	木、カードボード、アクリル他
12		荒川 修作	もうひとつのテクスチャー-I	1960	ミクスドメディア

平成29年2月21日現在

7.5. 利用案内

利用時間・料金等

開館時間 午前9時から午後10時まで（ただし、3階磯崎新建築展示室は午後6時まで）

休館日 年末年始（12月28日～1月3日）

使用料

	4月・5月・10月・11月料金	冷暖房期間中料金 (左記の月を除く期間)	
アートホール (427㎡)	1日(9時～22時)	9,770円	13,670円
	1時間	1,180円	1,650円
研修室(79㎡)	1時間	710円	990円
実技室(77㎡)	1時間	210円	290円
市民ギャラリー(338㎡)	1日(9時～22時)	7,710円	10,790円
A室(236㎡)	1日(9時～22時)	5,400円	7,560円
B室(102㎡)	1日(9時～22時)	2,310円	3,230円
磯崎新 建築展示室	観覧無料		

受付方法 ●使用日の6カ月前から受付を行う。

●ただし、芸術・文化活動以外の会議や研修などは3カ月前から受付を行う。

●また、5日以上連続して行う展覧会については、12カ月前から受付を行う。

●受付、空き情報の問い合わせは、年末年始の休館日を除く日の午前9時から午後10時まで。

●電話等による仮押えは不可。

●使用料は、使用許可の際に事務室の受付窓口で納入。

●大分市公共施設案内・予約システムによる利用は可。

交通案内

・JR大分駅府内中央口（北）から徒歩15分

・バス 大分合同新聞社前下車

・車 大分自動車道／大分I.C.から15分

名称・所在地

アートプラザ

〒870-0046 大分市荷揚町3番31号

TEL 097-538-5000 FAX 097-538-5060

7.6. 利用状況

(単位：人)

	1F		2F				3F	総利用者数
	ギャラリーA	ギャラリーB	アートホール	研修室	実技室	60'sホール	磯崎新建築模型展	
10年度	17,209	14,532	22,398	8,370	1,937	3,607	7,498	75,551
11年度	12,733	10,707	17,600	4,326	3,280	1,663	5,398	55,707
12年度	19,595	15,979	49,831	3,890	3,450	1,454	7,499	101,698
13年度	16,974	11,674	25,298	5,042	4,329	13,111	7,046	83,474
14年度	20,234	15,972	43,515	5,774	4,180	14,510	6,661	110,846
15年度	31,332	24,909	34,215	6,267	4,587	10,126	4,871	116,307
16年度	36,298	31,276	42,928	9,064	4,505	6,730	6,287	137,088
17年度	35,518	35,125	36,161	9,138	3,846	4,676	6,829	131,293
18年度	37,802	32,415	38,629	8,814	4,254	2,655	13,592	138,162
19年度	33,226	25,225	44,118	8,535	4,905	3,514	7,491	127,014
20年度	44,783	37,602	48,644	10,220	5,514	9,320	17,253	173,336
21年度	33,695	29,240	40,240	10,257	4,861	33,148	18,949	170,390
22年度	37,916	29,344	46,644	10,177	4,488	21,547	20,910	171,026
23年度	39,491	26,616	56,781	10,950	5,161	15,024	24,724	178,747
24年度	37,134	29,202	50,874	12,111	5,732	15,472	22,876	173,401
25年度	34,038	30,803	48,013	10,384	5,619	19,280	22,917	171,054
26年度	30,828	36,831	76,687	9,669	4,988	22,506	31,297	212,806
27年度	31,294	30,190	52,569	10,508	4,934	17,160	25,828	172,483
28年度	28,509	26,588	41,500	4,193	9,544	28,121	30,238	168,693

7.7. アートプラザ条例

http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/ag50206221.html

7.8. アートプラザ条例施行規則

http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/ag50206231.html